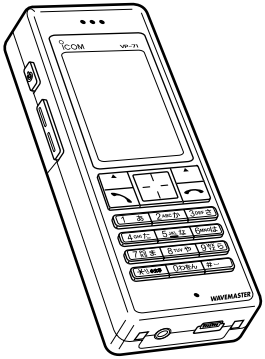
ICOM

取扱説明書

WAVEMASTER®

WIRELESS IP PHONE

VP−71



Icom Inc.

ご使用になる前に 1

クイック導入ガイド 2

操作について 3

その他の基本設定 4

保守について 5

WEB設定画面について 6

ご参考に 7

Wnn 組込み型 日本語かな漢字変換システム

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、無線LANの[IEEE802.11b/g]規格に準拠したワイヤレスIP電話機です。

弊社製VoIP機器の簡易中継サーバ機能を利用して、内線および外線通話ができます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

※[IEEE802.11g]規格は、[IEEE802.11b]規格と互換性があります。
[IEEE802.11]規格(14ch)には対応していません。

【重要】
本製品を商用IP電話業者の回線や公衆電話回線で使用する場合は、簡易中継サーバ機能搭載の弊社製VoIP機器に接続することで発着信できます。
※本書で記載するSIPサーバは、弊社製VoIP対応機器(簡易中継サーバ)への接続を意味します。

登録商標について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、ICOM、WAVEMASTERは、アイコム株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
本文中の画面の使用に際して、米国Microsoft Corporationの許諾を得ています。
Adobe、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の登録商標です。
日本語変換は、オムロンソフトウェア株式会社のミニWnnを使用しています。
ミニWnnは、オムロンソフトウェア株式会社が著作権を保有しています。
″ MiniWnn″ © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 2000-2002 All Rights Reserved
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

本書の説明用の画面は、実際の画面と字体や形状が異なっていたり、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本製品の概要について

◎[IEEE802.11b/g]規格の無線LANに準拠したワイヤレスIP電話機です。

◎暗号化方式は、「WEP RC4(64(40)/128(104)ビット)」、「AES」※1に対応しています。

◎ネットワーク認証は、「共有キー」、「オープンシステム」、「WPA-PSK」※1、「WPA2-PSK」※1に対応しています。

◎G.711、G.729aの音声コーディック搭載、ToS(Type of Service)、およびDiffServ(Differentiated Service)対応により、安定した音声品質で通話できます。

◎簡易中継サーバ※2に接続する本製品から、外線への発信や外線からの着信ができます。

◎電話帳は、最大100件まで登録できます。

◎不在、着信、発信の履歴を合計で50件まで記憶できます。

◎通話中の相手を保留、または転送できます。

◎バッテリーパックは、リチウムイオン電池を採用しています。

◎設定は、本製品を直接操作する方法と、本製品と同じ無線ネットワーク上に接続されたパソコンから本製品のWEB設定画面にアクセスして設定する方法があります。

◎本製品は、技術基準適合証明を取得していますので、無線局の免許は不要です。

※1 本製品の「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」認証で使用できる暗号化方式は「AES」だけです。
ご使用になるときは、接続する無線アクセスポイント側の暗号化方式を「AES」に設定してください。
また、無線アクセスポイント側を「TKIP・AES」に設定している場合は接続できませんのでご注意ください。

※2 本書で記載の簡易中継サーバは、弊社製VoIP機器に搭載の簡易中継サーバ機能を意味します。

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は，情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は，家庭環境で使用することを目的としていますが，この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると，受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って，正しい取り扱いをして下さい。

はじめに

防水性能について (水をかけないでください。)

本製品は、防水構造ではありません。
VP-71本体、充電アダプター、クレードル、バッテリーパック、イヤホンマイクは、水につけないでください。
水ぬれ(雨や水の飛まつも含む)による故障の場合、保証対象外になり、修理をお受けできないことがあります。
なお、修理をお受けできる場合でも、保証対象外のため有償修理になることをあらかじめご了承ください。

取り扱い上のご注意

◎家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、電波妨害を引き起こすことがあります。
このようなときは、本製品を、妨害を受けている機器からできるだけはなしてご使用ください。
◎本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。
◎本書およびハードウェア、ソフトウェア、外観の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

無線LANの電波法についてのご注意

- 本製品に使用している無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、特定無線設備の認証を受けています。
  したがって、本製品の使用に際しては、無線局の免許は必要ありません。
- 本製品を使用できるのは、日本国内に限られています。
  本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造しています。
  したがって、日本国外で使用された場合、本製品およびその他の機器を壊すおそれがあります。
  また、その国の法令に抵触する場合があるので、使用できません。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本製品を使用しないでください。
  心臓ペースメーカーに電磁妨害をおよぼして、生命の危険があります。
- 医療機器の近くで本製品を使用しないでください。
  医療機器に電磁妨害をおよぼして、生命の危険があります。
- 電子レンジの近くで本製品を使用しないでください。
  電子レンジによって本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。
- 本製品の無線装置は、電波法に基づく認証を受けていますので、本製品の分解や改造をしないでください。

ユーザー登録について

本製品のユーザー登録は、アイコムホームページでお受けしています。
インターネットから、「http://www.icom.co.jp/」にアクセスしていただき、ユーザー登録用フォーム（サポート情報→ユーザー登録）にしたがって必要事項をご記入ください。
ご登録いただけない場合、サポートサービスをご提供できませんのでご注意ください。

はじめに

2.4GHz無線LANの電波干渉についてのご注意

2.4GHz帯の無線LANで通信を行うときは、次のことがらに注意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。

○この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。

○万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記のサポートセンターにご連絡いただき、混信回避のための対処等についてご相談ください。

○その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記へお問い合わせください。

お問い合わせ先：アイコム株式会社　サポートセンター
0120-156-313 (フリーダイヤル)
◆ 携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、
06-6792-4949 (通話料がかかります)
受付(平日 9:00～17:00)

内蔵の2.4GHz帯(IEEE802.11b/g)無線LANカードについて

使用周波数帯域：2.4GHz帯を使用する無線設備
変調方式　　：OFDM方式/DS-SS方式
想定干渉距離　：40m以下
周波数変更可否：全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避可能

【お知らせ】

無線LAN製品をご使用になるときは、下記のアドレスにアクセスしていただき、「無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意」をご覧ください。
アドレス：http://www.icom.co.jp/network_security/

取扱説明書の構成について

本書では、別紙の簡単ご利用ガイドに記載の内容以外で知っておいていただきたい機能や本製品の一般的な使用方法について説明しています。

取扱説明書(本書/CD収録)

本製品のおもな機能の説明と基本的な方法、WEB設定画面で設定できる詳細な機能について、本書を順番に読みながら設定できるように構成されています。

簡単ご利用ガイド(別紙)

本製品を内線電話としてご利用いただくための簡単ご利用ガイドです。

安全上のご注意(別紙)

本製品を安全にご使用いただくために、必ずお読みください。

本書の表記について

本書は、次の表記規則にしたがって記述しています。

「　」表記　：オペレーティングシステム(OS)の各ウィンドウ(画面)、ユーティリティー、設定画面の各メニューとそのメニューに属する設定画面の名称を(「」)で囲んで表記します。

[　]表記　：タブ名、アイコン名、テキストボックス名、チェックボックス名、各設定画面の設定項目名を([ ])で囲んで表記します。

〈　〉表記　：ダイアログボックスのコマンドボタンなどの名称を(〈 〉)で囲んで表記します。

※Microsoft® Windows Vista™ Home Basic、Microsoft® Windows Vista™ Home Premium、Microsoft® Windows Vista™ BusinessおよびMicrosoft® Windows Vista™ Ultimateは、Windows Vistaと表記します。

Microsoft® Windows® XP Professional、Microsoft® Windows® XP Home Editionは、Windows XPと表記します。

Microsoft® Windows® 2000 Professionalは、Windows 2000と表記します。

※本書は、Ver3.9.15.133のファームウェアを使用して説明しています。

※本書では、紙面上の都合により、設定画面の一部を省略して掲載しています。

※本書中の画面は、OSのバージョンや設定によって、お使いになるパソコンと多少異なる場合があります。

はじめに

ご使用までの流れ

本製品を設定されるときは、次の手順にしたがってお読みください。
順番に基本的な設定ができる構成になっています。
※右端に記載する数字は、本書の参照箇所です。

Step. 1	梱包内容を確認	**簡単ご利用ガイド(別紙)**
Step. 2	各部の名称と機能	**1章**
Step. 3	バッテリーパックを準備する	**1章**
Step. 4	電源を入れて初期設定をする	**2章**
Step. 5	内部時計など、その他の基本設定について	**4章**
Step. 6	設定初期化など、保守について	**5章**
ご参考に	困ったときは？	**7章**

本製品を設定するために必要な、弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)側の項目です。
※設定をはじめる前に、弊社製VoIP機器(または無線アクセスポイント)の設定を完了してください。
詳しくは、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

「電話設定」メニュー	「簡易サーバ設定」画面	簡易中継サーバ設定	簡易中継サーバ機能を使用
		子機内線設定	内線番号
			パスワード
「ネットワーク設定」メニュー	「LAN側IP設定」画面	本体名称／IPアドレス設定	IPアドレス
「無線LAN設定」メニュー	「無線LAN設定」画面	無線LAN設定	SSID
	「暗号化設定」画面	暗号化設定	暗号化方式
			キーインデックス
			WEPキー

説明ページの構成について

本書は、次のような構成で操作手順を説明しています。

章番号/章タイトル

3 操作について

番号/大タイトル

2 文字入力

電話帳の登録やメッセージの作成など、文字の入力が必要です。
本製品では、記号、数字、英字、漢字、ひらがな、カタカナが入力できます。

操作タイトル

文字の入力モードを切り替える

例）電話帳を登録する入力画面の場合

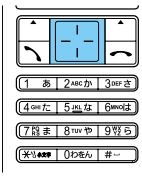
操作手順

メニューから項目へ、操作手順を説明しています。

1 **電話帳の入力画面で(→P46)[カーソル(下)]キーを押します。**

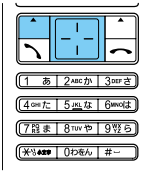
入力モード一覧が表示されます。

※暗号化設定の入力画面で[カーソル(下)]キーを押した場合は、HEX(16進数)入力モードが選択できます。（下図参照）



2 **[カーソル(上下)]キーで入力モードを選択し、[メニュー]キーを押します。**

入力画面の下部に、現在の入力モードが表示されます。



表示画面

操作後、表示される画面です。

【使用できる記号について】

「（スペース）」、「ー(長音)」など記号を入力するときは、挿入記号入力モードに切り替え、画面上で選択します。

※電話帳の名前には、「@(アットマーク)」「'(アポストロフィー)」「"(ダブルコーテーション)」を使用できませんのでご注意ください。

(選択)

補足説明

注意事項や操作上のアドバイスなどについて、説明しています。

もくじ

はじめに――――――――――――――――――――――――――――――――――i
もくじ――――――――――――――――――――――――――――――――――― ix

第1章 ご使用になる前に 1

1 各部の名称と機能 ……2
2 バッテリーパックについて ……6
3 充電のしかた ……8
4 電源を入れる／電源を切る ……10
5 ご使用になる場所について ……11
6 メニューについて ……12
7 WEB設定画面にアクセスするには ……13

第2章 クイック導入ガイド 15

1 ご使用までの流れ ……16
2 無線ネットワークを設定する ……17
3 SIP（簡易中継サーバ）を設定する ……29

第3章 操作について 33

1 通話 ……34
2 文字入力 ……42
3 電話帳 ……46
4 短縮ダイヤル ……54
5 メッセージ ……56
6 保留・転送 ……60
7 パーク保留・応答 ……63

第4章 その他の基本設定 65

1 SIP……66
2 設定 ……67

第5章 保守について 73

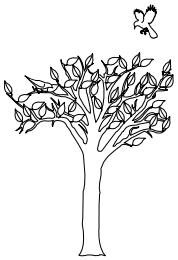
1 設定画面へのアクセスを制限するには …… 74
2 設定内容の確認または保存 …… 75
3 保存された設定の書き込み …… 77
4 設定を出荷時の状態に戻す …… 79
5 ファームウェアをバージョンアップする …… 81

第6章 WEB設定画面について 85

1 システム …… 86
2 無線LAN …… 92
3 自動設定 …… 95
4 SIP …… 96
5 設定 …… 99
6 電話帳 …… 100
7 通話履歴 …… 101
8 メッセージ履歴 …… 102
9 短縮ダイヤル …… 103

第7章 ご参考に 105

1 困ったときは …… 106
2 弊社製VoIP機器側の設定例 …… 107
3 イヤホンマイク(付属品)の使いかた …… 111
4 ローミング設定について …… 113
5 設定項目の初期値一覧 …… 115
6 定格 …… 116



ご使用になる前に

第1章

この章では、
本製品を使う前に必要な準備などを説明します。

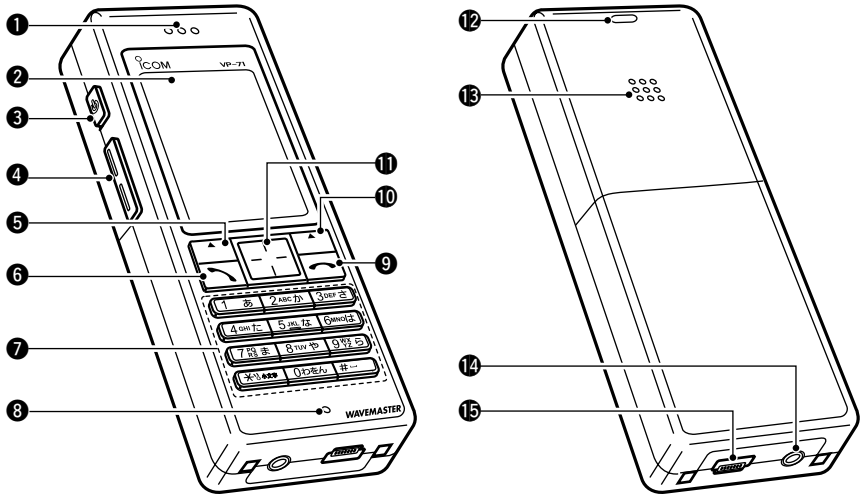
1 各部の名称と機能 …… 2
本体…… 2
ディスプレイ…… 4
2 バッテリーパックについて …… 6
取り付けかた…… 6
取りはずしかた…… 7
3 充電のしかた …… 8
充電アダプターで充電する場合…… 8
クレードルで充電する場合…… 9
4 電源を入れる／電源を切る …… 10
電源を入れる…… 10
電源を切る…… 10
5 ご使用になる場所について …… 11
無線通信距離について…… 11
周辺機器の影響について…… 11
6 メニューについて …… 12
7 WEB設定画面にアクセスするには …… 13

本製品のキー操作について

本製品を設定するときや操作するときは、表示された画面のガイダンスにしたがって、対応するキーを押してください。
キーを長く押すと、誤動作の原因になることがありますので、ご注意ください。
※電源キー操作時や短縮ダイヤル発信時を除きます。

1 各部の名称と機能

本体



❶受話口
通話中に相手の声が聞こえます。

❷ディスプレイ(→P4)
本製品の状況や電話番号などが表示されます。

❸[電源]ボタン(→P10)
2秒以上押すと、電源が入ります。電源を切るときは、2秒以上押します。

❹[音量]キー(→P37)
着信音を5段階で調整できます。通話中に押すと、受話口からの音声を5段階で調整できます。

❺[メニュー]キー
操作を決定したり、選択するために使用します。このキーの機能は、画面の左下に表示されます。

❻[通話]キー
発信したり、応答するために使用します。通話中以外に押すと、発信履歴を表示します。

❼[ダイヤル]キー
電話番号や文字入力するために使用します。文字入力については、本書3章をご覧ください。

❽送話口
通話中にこちらの声を相手に伝えます。

❾[終了]キー
通話を終了するために使用します。通話中以外に押すと、操作を取り消します。

⑩[電話帳]キー
操作を取り消したり、前の画面に戻るために使用します。このキーの機能は、画面の右下に表示されます。

⑪[カーソル]キー(→P5)
画面上のカーソルを移動するために使用します。カーソルの移動はキーを上下左右に操作します。

⑫ハンドストラップ取り付け穴
市販のハンドストラップを取り付けできます。

⑬スピーカー口
着信音用のスピーカー口です。

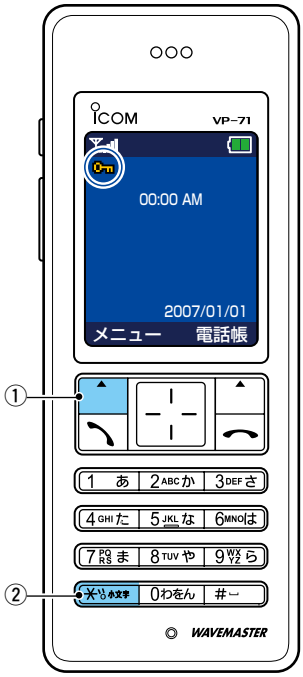
⑭イヤホンマイクジャック(下部)
イヤホンマイク(付属品)を接続します。
(プラグ:2.5φ)
※付属品以外は、使用できません。

⑮DCジャック(下部)
充電アダプター(付属品)を接続すると、充電を開始します。
※接続するときは、形状や向きにご注意ください。

【キーをロックするときは】
①待受画面表示中に、[メニュー]キーを押します。
②メインメニューが表示されたら、2秒以内に[＊(アスタリスク)]キーを押します。

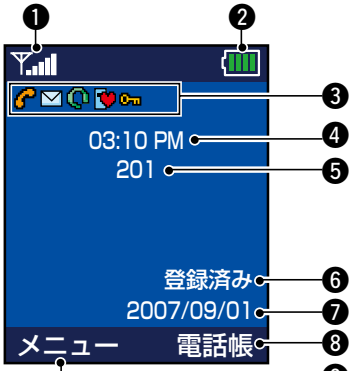
【キーをロックされているときは】
右図のように、アイコンを表示します。
キーを操作すると、下図の画面を表示します。

解除するときは、ロックしたときと同じ手順で操作します。
※自動ロック機能については、本書4章をご覧ください。



1 各部の名称と機能

ディスプレイ



（待受画面例）

（ネットワーク表示画面例）

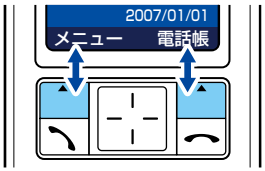
❶		電波状況：強
		：中
		：弱
	無線アクセスポイントに接続できないときは「圏外」を表示します。	
❷		電池残量：十分
		：少ない
		：充電が必要
		：残量なし
		充電中
❸		イヤホンマイク接続中
		新着メッセージあり
		受信したメッセージが10件を超えたとき（→P58）
		不在着信あり
		キーロック中
		マナーモード時（→P41）
❹	時刻表示	

❺	自局番号（内線番号） 設定されていないときは空白です。	
❻	簡易中継サーバとの接続状況	
	登録済み	接続完了
	登録中	接続中
	未登録	未接続
	無線アクセスポイントに接続できないときは「**未接続**」を表示します。	
❼	日付	
	IPアドレス	取得した（または設定した）IPアドレス
	SSID	接続している無線アクセスポイントのSSID
	[カーソル(上)]キーを押すごとに、表示が切り替わります。	
❽	[電話帳]キーの操作ガイド	
❾	[メニュー]キーの操作ガイド	
❿	同じ無線ネットワーク上の無線アクセスポイントのSSID	
⓫	無線アクセスポイントの電波状況 セキュリティーが設定されているときは「鍵アイコン」を表示します。	

【キー操作について】

・ディスプレイ下部の表示と動作

表示されている機能を実行するときは、対応するキーを押します。



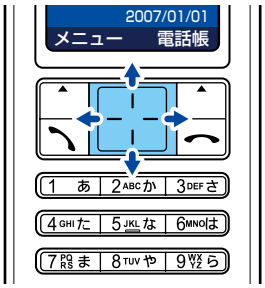
・カーソル移動／画面スクロール／項目の選択

[カーソル]キーを押すことで、画面上のカーソルが移動します。

画面に表示しきれない部分がある場合、[カーソル(上下)]キーを押すと、画面をスクロールできます。

電話帳やメッセージの作成中などに、[カーソル(左右)]キーを押すと、カーソルを移動できます。

漢字入力モード中に、[カーソル(上下)]キーを押すと、変換候補を表示できます。



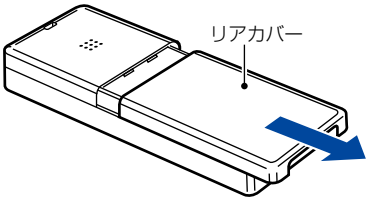
項目を選択するときは、[カーソル(上下)]キーで項目を選択し、[メニュー]キーを押します。

2 バッテリーパックについて

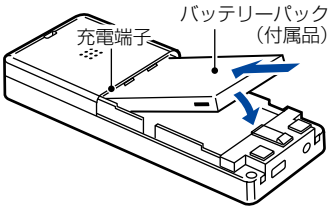
取り付けかた

「充電アダプターをVP-71本体に接続していないこと」をご確認ください。

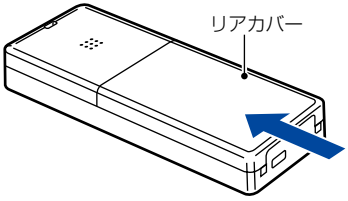
1 **リアカバーを押しながら、矢印の方向にスライドさせてはずします。**



2 **注意書き面を上にして、バッテリーパックと充電端子を合うように差し込み、矢印の方向に押してはめ込みます。**



3 **リアカバーを本製品に合わせ、矢印の方向にスライドさせて取り付けます。**



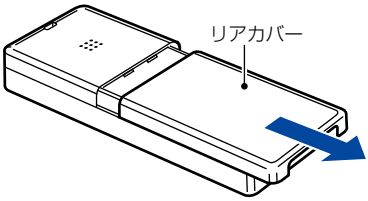
バッテリーパックの充電について

付属のバッテリーパックは、出荷時の状態では十分な充電がされていませんので、はじめてお使いになるときや電池残量が少なくなってきたときは、必ず充電してください。（→P8）
十分な充電がされていない場合は、電源が入りませんので、充電してから電源を入れてください。

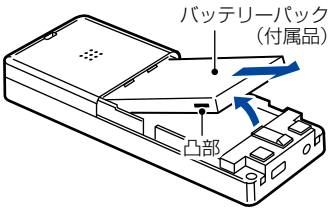
取りはずしかた

「VP-71本体の電源が切れていること」、「充電アダプターをVP-71本体に接続していないこと」をご確認ください。

1 **リアカバーを押しながら、矢印の方向にスライドさせてはずします。**



2 **バッテリーパックの凸部に爪をかけて取りはずします。**



⚠注意

バッテリーパックの取り付けや取りはずしの前に、必ずDCプラグを抜いてください。

電話機本体に充電アダプターのDCプラグを接続した状態で取り付けや取りはずしをすると、故障の原因になることがあります。

3 充電のしかた

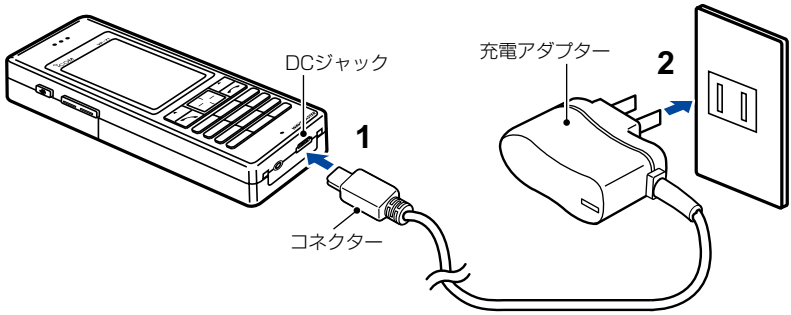
⚠警告：DCジャックとの接続について

[USB]ポート搭載の機器(パソコンなど)には、絶対接続しないでください。
接続すると、火災、感電、故障の原因になります。

充電アダプターで充電する場合

1 **充電アダプターのコネクターを、VP-71本体のDCジャックに接続します。**
コネクターの形状や向きを確認して、DCジャックに平行に差し込んでください。

2 **充電アダプターをACコンセントに差し込みます。**
奥まで確実に差し込んでください。
電源を入れた状態では、充電完了時、確認音が鳴ります。（マナーモード時を除く）



充電端子について

- 充電端子が汚れていると、接触不良の原因となり、正しく充電できません。本体や充電アダプター、クレードルの充電端子は、ときどき乾いた布で清掃してください。
- 充電端子を清掃するときは、充電端子を変形させないようご注意ください。

充電時間と使用時間について

本体の電源を入れた状態でも充電できますが、充電時間が長くなります。
※充電中は、本体や充電アダプターの一部が多少熱くなりますが、充電によるもので、支障はありません。
※充電状態・気温などの使用環境、使用場所の電波状態などによっては、使用時間は半分以下になることがあります。

充電時間	約4時間	本体の電源を切った状態で、空のバッテリーパックの充電が完了する時間
連続通話時間	約2時間30分	通話状態で操作をしないとき
連続待受時間	約50時間	待受(着信がない)状態で操作をしないとき

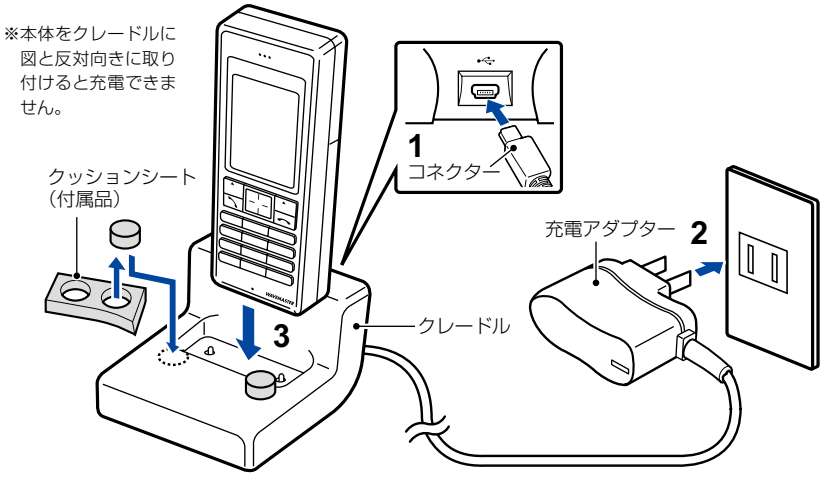
クレードルで充電する場合

VP-71本体の転倒を防ぐため、下図のようにクッションシート(付属品)を取り付けてください。

1 **充電アダプターのコネクターを、クレードル背面の接続端子に接続します。**
コネクターの形状や向きを確認して、接続端子に平行に差し込んでください。

2 **充電アダプターをACコンセントに差し込みます。**
奥まで確実に差し込んでください。

3 **図のように、VP-71本体をクレードルに取り付けます。**
電源を入れた状態では、充電完了時、確認音が鳴ります。(マナーモード時を除く)

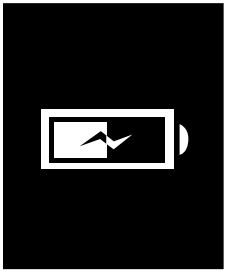


充電中／充電完了を確認するには

電源の状態によって、表示と完了のしかたが異なりますのでご注意ください。

- **電源を切った状態**
  充電完了時、充電中アイコン(→右図)が充電完了アイコンになります。
- **電源を入れた状態**
  充電完了時、確認音が鳴り、「充電完了」画面を表示し、待受画面に戻ります。

※電源を切った状態、またはマナーモード時(→P41)、確認音は鳴りません。


電源を切った状態の充電中アイコン

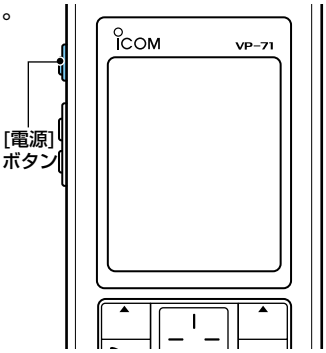
電源を入れた状態の充電中アイコン

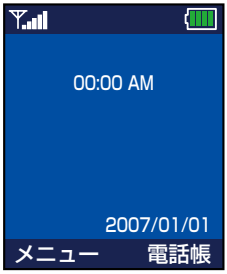
4 電源を入れる／電源を切る

電源を入れる

[電源]ボタンを2秒以上押します。

起動アニメーションが動作した後、
待受画面の表示になります。





（待受画面）

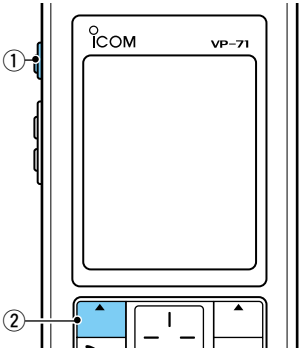
電源を切る

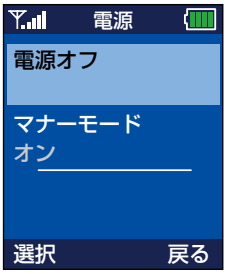
ボタンを押す時間により、操作が異なります。

ボタンを短く押す

①画面表示中に、
[電源]ボタンを短く押します。
電源画面が表示されたことを
確認します。

②[メニュー]キーを押します。
終了アニメーションが動作した後、
電源が切れます。





（電源画面）

ボタンを長押しする

画面表示中に、
[電源]ボタンを2秒以上押します。
終了アニメーションが動作した後、
電源が切れます。

5 ご使用になる場所について

ご使用になる場所によっては、通話エリアや音質に影響しますので、以下のことを考慮してご使用ください。

- 電波は壁やガラスをある程度通過しますが、金属は通過しません。
  コンクリートの壁でも、金属補強材が埋め込まれていて、電波信号を遮断するものがあります。
- 通話エリアはオープンスペースだと最も広くなりますが、倉庫の中のように大きな金属製の壁があると、電波を反射することがあります。
- 床にはふつう、鋼製の梁がはいっており、金属製防火材が埋め込まれていることがあります。
  そのため多くの場合、違う階の相手とは通話できません。

無線通信距離について

無線通信距離は、ご使用になる場所よって異なります。
本製品の無線通信距離は、室内で30m以内(見通し)、オープンスペースで約70m以内を目安にご使用ください。

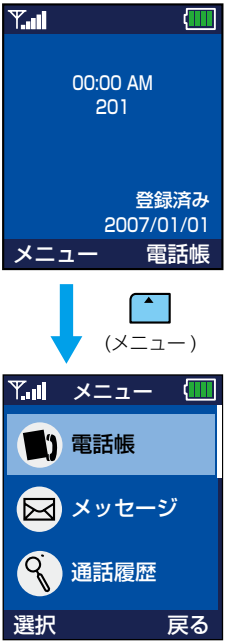
周辺機器の影響について

次の機器から電波の影響を受けると、通話中に音声がとぎれたり聞き取りにくくなることがありますので、ご注意ください。

- 電子レンジ
- 無線LAN機器(無線アクセスポイント、防犯機器など)
- ワイヤレス機器(テレビ、ステレオ、パソコンなど)
  下記の機器からも影響を受けることがあります。
  ・ゲーム機のコントローラー
  ・万引き防止システム
  ・アマチュア無線局
  ・工場や倉庫などの物流管理システム
  ・鉄道車両や緊急車両の識別システム
  ・マイクロ波治療器
  ・Bluetooth®対応製品やVICS(道路交通情報通信システム)など

6 メニューについて

本製品のメニュー構成は、次のようになっています。



（メインメニュー）

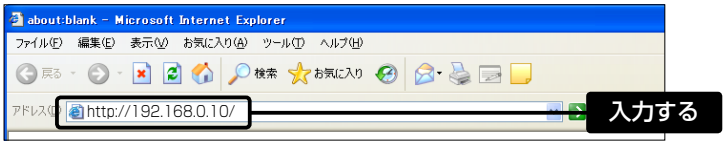
電話帳			
メッセージ	メッセージを読む		
	メッセージを送る		
通話履歴	不在履歴		
	着信履歴		
	発信履歴		
無線LAN	ネットワーク表示		
	IPアドレス設定		
	優先ネットワーク		
	自動接続		
	ローミング設定		
SIP	SIPプロファイル		
	SIPウィザード		
	詳細		
設定	言語		
	音		着信音
			着信音量
			バイブレーター
			自動応答
			キータッチ音
			DTMFトーン
			メッセージ通知
	日時	日時設定	時刻
			時刻表示形式
			時刻区切り文字
			日付
			日付表示形式
			日付区切り文字
		NTP設定	NTPから取得
			更新間隔
			NTPサーバ　1
			NTPサーバ　2
			NTPサーバ　3
	バックライト		
	自動キーロック		
	カレンダー		
	短縮ダイヤル		
	自動設定		自動設定を使用
			ダウンロード方法
	設定初期化		
情報	SIP		
	ネットワーク		
	システム		

7 WEB設定画面にアクセスするには

本製品と同じネットワーク上のパソコンから、本製品のWEB設定画面にアクセスできます。
本製品のIPアドレスをVP-71本体の待受画面で確認して(→P4)、下記の手順で操作します。

1 **WWWブラウザを起動します。**

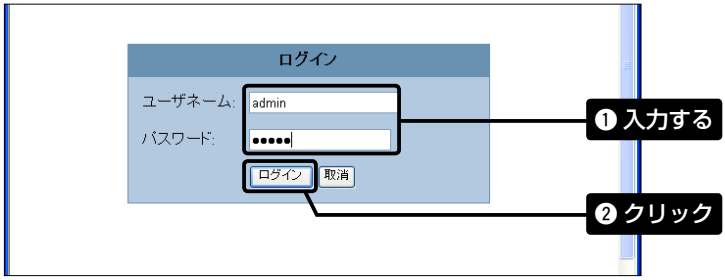
2 **本製品のIPアドレスを、WWWブラウザのアドレスバーに入力します。**



※上図は、説明のための入力例です。

3 **[Enter]キーを押します。**
ログイン画面が表示されます。

4 **[ユーザネーム]、[パスワード]欄に「admin(出荷時の設定)」を入力し、〈ログイン〉をクリックします。**
本製品のWEB設定画面が表示されます。

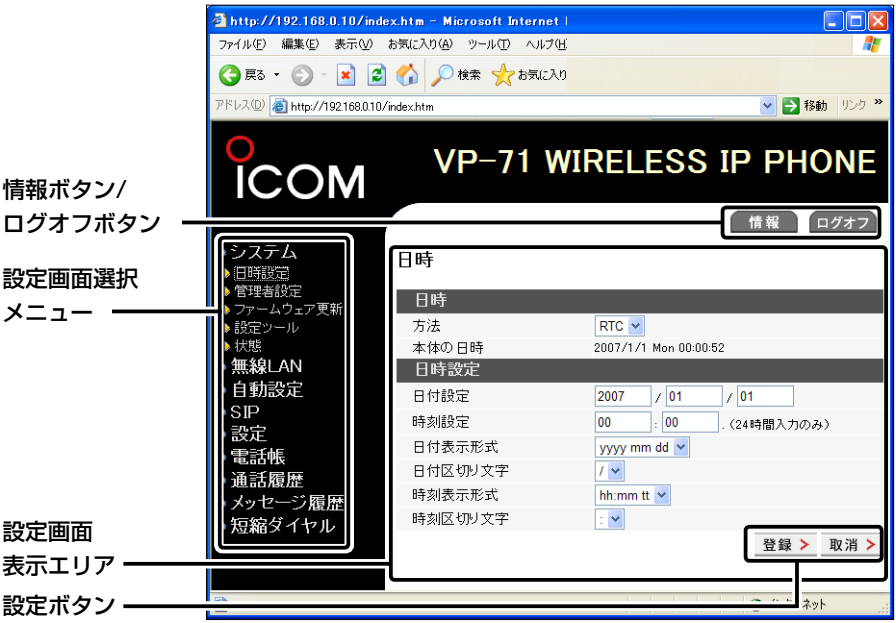


※入力した文字は、「＊(アスタリスク)」または「●(黒丸)」で表示されます。

WWWブラウザについて
ご使用になるWWWブラウザは、Microsoft Internet Explorer6.0以降をご用意ください。
本書では、Internet Explorer6.0を使用して説明しています。

7 WEB設定画面にアクセスするには

本製品のWEB設定画面の名称と各画面に含まれる項目を説明します。
WEB設定画面の各項目について、詳しくは6章をご覧ください。



設定画面選択メニュー

各設定画面を用途別に、メニューとしてまとめています。
メニュー名をクリックすると、各設定画面へのリンクボタンをメニュー名の下部に表示します。

設定画面表示エリア

設定画面選択メニューで選択されたタイトルの画面を表示します。

設定ボタン

設定した内容の登録や取り消しをします。
※表示画面によって、表示されるボタンの種類や位置が異なります。

情報ボタン

クリックすると、本製品の接続状況などを表示します。

ログオフボタン

クリックすると、ログオフしてログイン画面(→P13)を表示します。

クイック導入ガイド

第2章

この章では、
VP-71本体を設定して、内線電話をご使用いただくまでの手順を説明しています。

1 ご使用までの流れ …… 16
2 無線ネットワークを設定する …… 17
　ネットワーク表示で接続する…… 17
　優先ネットワークで接続する…… 20
　自動接続で接続する…… 27
3 SIP（簡易中継サーバ）を設定する …… 29

ネットワーク環境について

本製品を使用するには、無線ネットワークで弊社VoIP機器に接続できる環境が必要です。
事前に無線ネットワークおよび弊社VoIP機器の設定をご確認ください。

対応する暗号化方式（入力モード）について

本製品で無線ネットワークのセキュリティーを設定する場合は、[カーソル(下)]キーを押して入力モードを切り替えると、「HEX(16進数)」または「ASCII文字」を設定できます。

2 クイック導入ガイド

1 ご使用までの流れ

本製品をご使用いただくには、次の手順でVP-71本体の設定をする必要があります。
VP-71本体の設定をはじめる前に、無線ネットワークおよび弊社VoIP機器(簡易中継サーバ)側の設定を完了してください。
※設定を完了するまで、内線電話として利用できませんのでご注意ください。

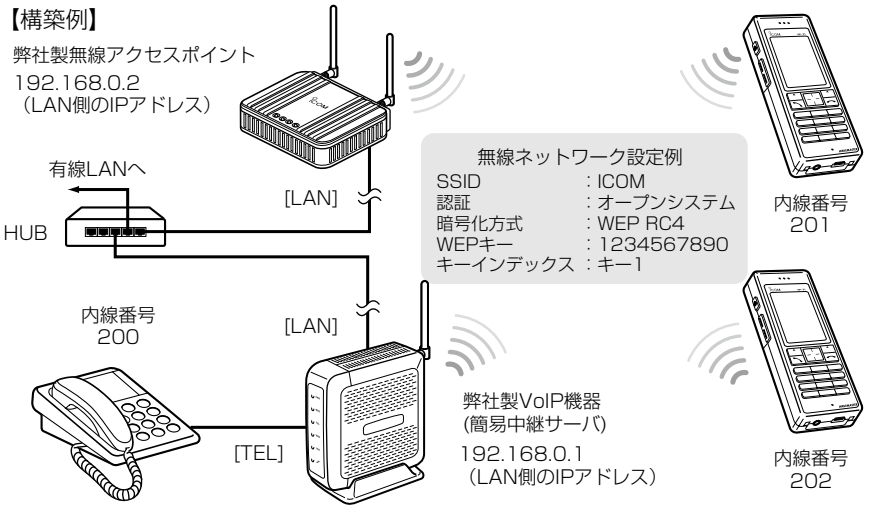
Step. 1 電源を入れる 10ページ

▼

Step. 2 無線ネットワークを設定する 17～28ページ

▼

Step. 3 SIP(簡易中継サーバ)を設定する 29～31ページ



出荷時、本製品の無線LANは、次のように設定されています。

IPアドレス設定	DHCP設定	DHCPからIPを取得	する
優先ネットワーク	LG		
自動接続	自動接続の設定	優先	

※上記以外の設定値については、本書7章をご覧ください。

2 無線ネットワークを設定する

無線ネットワークに接続するための設定は３種類あります。

接続する無線ネットワークに合った手順を参照して、接続してください。

※本製品のご利用には無線アクセスポイント（または無線アクセスポイント対応弊社製VoIP機器）が必要です。
本書では、無線アクセスポイント側の設定が完了しているものとして、説明しています。

検索して手動で接続する	→	**ネットワーク表示で接続する（→P17）**
登録して手動で接続する	→	**優先ネットワークで接続する（→P20）**

※ANY接続拒否を設定されている無線アクセスポイントや、DHCPサーバ機能が無効になっている無線ネットワークに接続する場合は、この手順を操作してください。

自動接続を利用して接続する	→	**自動接続で接続する（→P27）**

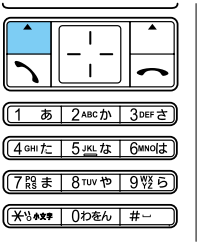
ネットワーク表示で接続する

接続できる無線アクセスポイントを検索して、手動で接続する場合の手順です。

※「圏外」が表示され検索できない場合は、「優先ネットワークで接続する」（→P20）を参照してください。

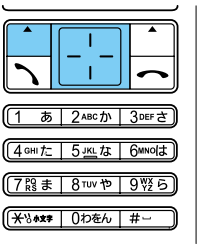
1 **待受画面で**
[メニュー]キーを押します。

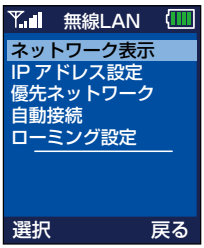
メインメニューが表示されます。



2 **[カーソル(上下)]キーで**
「無線LAN」を選択し、
[メニュー]キーを押します。

無線LANメニューが表示されます。





次ページにつづく ➔

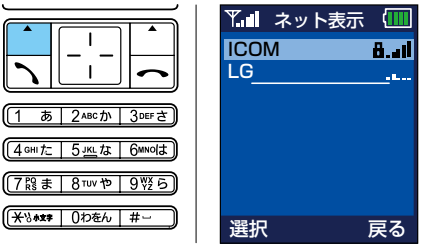
2 無線ネットワークを設定する

ネットワーク表示で接続する

3 **「ネットワーク表示」を選択し、[メニュー]キーを短く押します。**

ネットワーク表示画面(無線アクセスポイントの一覧)が表示されます。

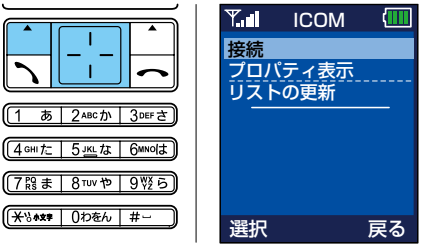
※無線アクセスポイントが表示されない場合、無線アクセスポイントの電源が入っているかご確認ください。



右図が表示されず、手順4の画面が表示されたときは、[電話帳]キーを押して操作をやり直してください。

4 **接続する無線アクセスポイントのSSIDを選択し、[メニュー]キーを押します。**

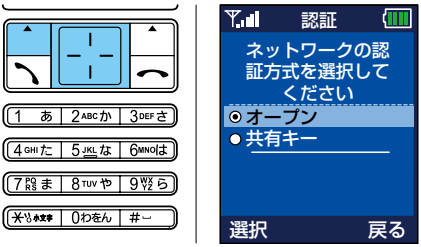
選択した無線アクセスポイントの画面が表示されます。



5 **「接続」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

認証画面(例：WEP)が表示されます。

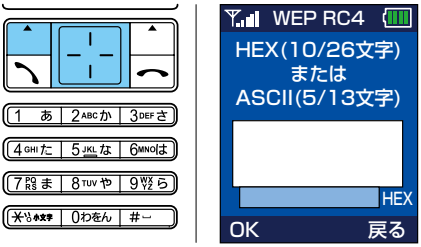
※暗号化が設定されていない無線アクセスポイントや、接続したことのある無線アクセスポイントに接続する場合は表示されませんので、手順8へ進んでください。



6 **接続する無線アクセスポイントの認証方式を選択し、[メニュー]キーを押します。**

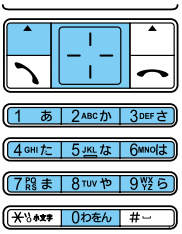
入力画面(例：WEP)が表示されます。

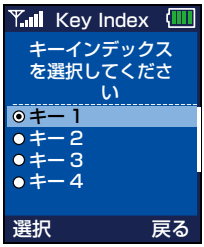
※文字の入力については、本書42ページをご覧ください。



7 **接続する無線アクセスポイントのWEPキーを入力し、[メニュー]キーを押します。**

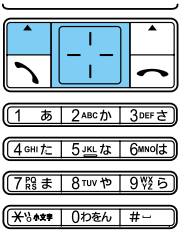
キーインデックス選択画面が表示されます。





8 **接続する無線アクセスポイントのキーインデックスを選択し、[メニュー]キーを押します。**

無線ネットワークへ接続を開始します。IPアドレスを取得し、接続を完了すると、待受画面に戻ります。



2

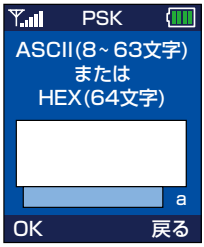
「接続することができませんでした」が表示されたときは

[メニュー]キーを2回押して「再接続」を操作するか、入力した内容が間違っている場合がありますので、[電話帳]キーを押し、17ページの手順1から操作をやり直してください。

WPA-PSK/WPA2-PSKの無線アクセスポイントに接続するには

入力画面で共有鍵を入力するだけで接続できます。

※本製品の「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」認証で使用できる暗号化方式は「AES」だけです。
ご使用になるときは、接続する無線アクセスポイント側の暗号化方式を「AES」に設定してください。
また、無線アクセスポイント側を「TKIP・AES」に設定している場合は接続できませんのでご注意ください。



入力画面(共有鍵)

接続した無線アクセスポイントについて

接続した無線アクセスポイントはプロファイルとして記憶されますので、次回以降「優先ネットワーク」の一覧から選択して利用できます。

2 無線ネットワークを設定する

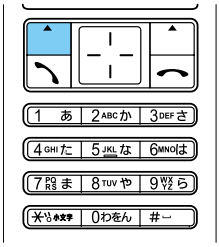
優先ネットワークで接続する

無線アクセスポイントを登録して、優先的に接続する場合の手順です。
ANY接続拒否を設定している無線アクセスポイントや、DHCPサーバ機能が無効になっている無線ネットワークに接続する場合は、この手順を操作してください。
※本製品のIPアドレスを「自動取得」でご利用の場合は、23ページへ進みます。

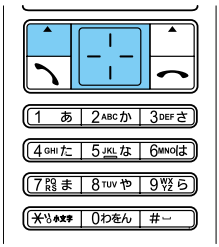
固定IPアドレスを設定するときは

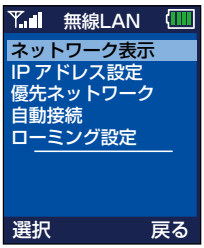
出荷時や全設定初期化時、本製品はIPアドレスを「自動取得」できるように設定されています。

1 **待受画面で**
[メニュー]キーを押します。
メインメニューが表示されます。

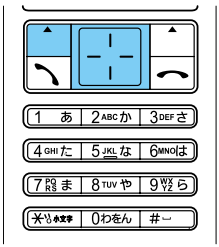


2 **[カーソル(上下)]キーで**
「無線LAN」を選択し、
[メニュー]キーを押します。
無線LANメニューが表示されます。



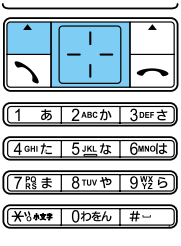


3 **[カーソル(上下)]キーで**
「IPアドレス設定」を選択し、
[メニュー]キーを押します。
IPアドレス設定画面が表示されます。



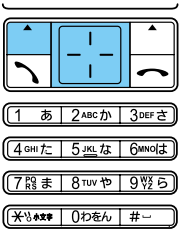
4 **[メニュー]キーを押します。**

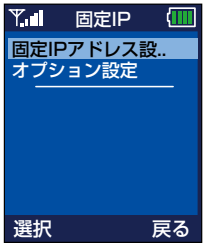
DHCP設定画面が表示されます。



5 **[カーソル(上下)]キーで「しない」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

固定IPアドレス設定画面が表示されます。



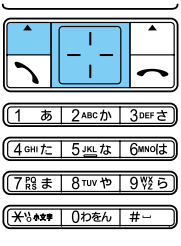


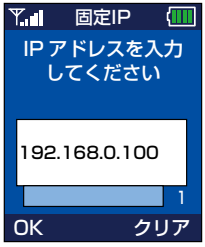
6 **[メニュー]キーを押します。**

IPアドレス入力画面が表示されます。

※「. (ドット)」は、[✳(アスタリスク)]キーを2回押すと、入力できます。

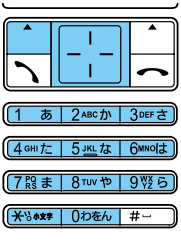
文字の入力については、本書42ページをご覧ください。





7 **IPアドレスを入力し、[メニュー]キーを押します。**

サブネットマスク設定画面が表示されます。



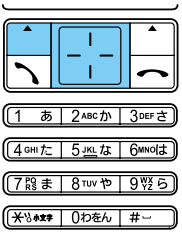
次ページにつづく➔

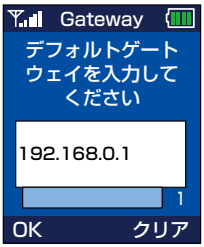
2 無線ネットワークを設定する

優先ネットワークで接続する

8 **[カーソル(上下)]キーで サブネットマスクを選択し、 [メニュー]キーを押します。**

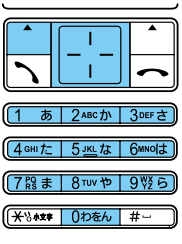
デフォルトゲートウェイ設定画面が表示されます。





9 **デフォルトゲートウェイを 入力し、 [メニュー]キーを押します。**

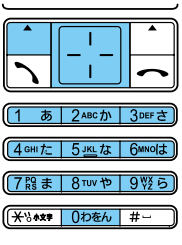
DNSサーバ設定画面が表示されます。



10 **DNSサーバを入力し、 [メニュー]キーを押します。**

待受画面に戻ります。

※オプション設定(→P21)で、セカンダリーDNSが設定できます。

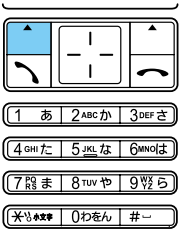


無線アクセスポイントを新規登録する

出荷時や全設定初期化時、本製品はSSIDが「LG」、暗号化なしの無線アクセスポイントに自動的に接続できるように設定されています。

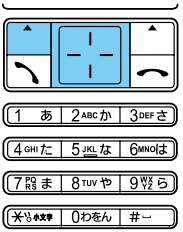
1 **待受画面で[メニュー]キーを押します。**

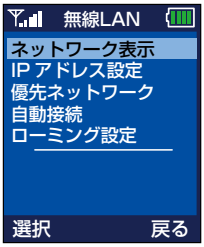
メインメニューが表示されます。



2 **[カーソル(上下)]キーで「無線LAN」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

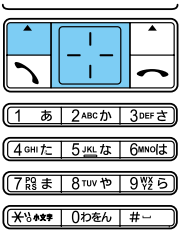
無線LANメニューが表示されます。





3 **[カーソル(上下)]キーで「優先ネットワーク」を選択し、[メニュー]キーを短く押します。**

優先ネットワーク設定画面が表示されます。



右図が表示されず、手順4の画面が表示されたときは、[電話帳]キーを押して操作をやり直してください。

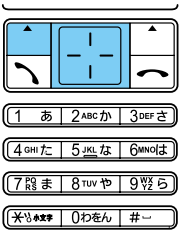
次ページにつづく➔

2 無線ネットワークを設定する

優先ネットワークで接続する

4 **[メニュー]キーを押します。**

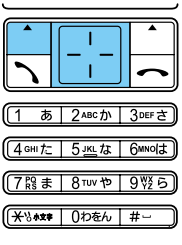
無線アクセスポイントの詳細画面が表示されます。



5 **[カーソル(上下)]キーで「作成」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

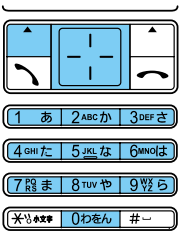
SSID入力画面が表示されます。

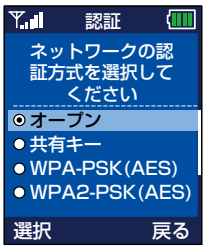
※文字の入力については、本書42ページをご覧ください。



6 **接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力し、[メニュー]キーを押します。**

認証画面が表示されます。

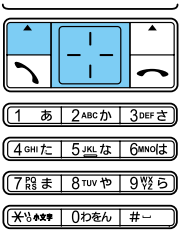




7 **[カーソル(上下)]キーで接続する無線アクセスポイントの認証方式を選択し、[メニュー]キーを押します。**

暗号化方式画面(例：WEP)が表示されます。

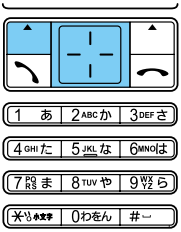
※「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」方式(→P26)の場合は、共有鍵入力画面が表示されますので、入力後手順11へ進んでください。

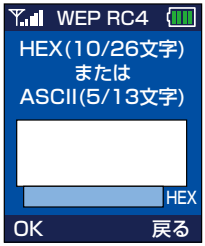


8 **[カーソル(上下)]キーで接続する無線アクセスポイントの暗号化方式を選択し、[メニュー]キーを押します。**

入力画面(例：WEP)が表示されます。

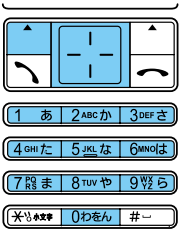
※「しない」の場合は、手順11へ進んでください。





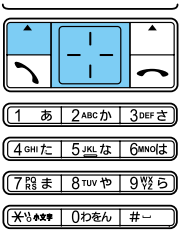
9 **接続する無線アクセスポイントのWEPキーを入力し、[メニュー]キーを押します。**

キーインデックス選択画面が表示されます。



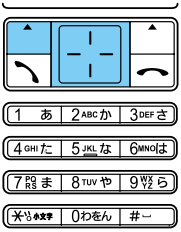
10 **接続する無線アクセスポイントのキーインデックスを選択し、[メニュー]キーを押します。**

優先ネットワーク設定画面に戻り、プロファイルとして、登録されたことを確認します。



11 **接続する無線アクセスポイントのSSIDを選択し、[メニュー]キーを押します。**

無線アクセスポイントの詳細画面が表示されます。



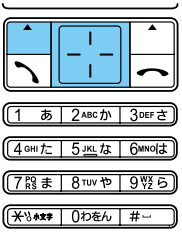
次ページにつづく ➔

2 無線ネットワークを設定する

優先ネットワークで接続する

12 **「接続」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

無線ネットワークへ接続を開始します。
接続を完了すると、待受画面に戻ります。



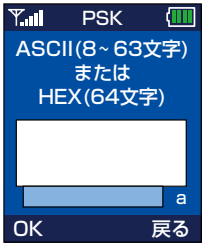
「接続することができませんでした」が表示されたときは

[メニュー]キーを2回押して「再接続」を操作するか、入力した内容が間違っている場合がありますので、[電話帳]キーを押し、23ページの手順1から操作をやり直してください。

WPA-PSK/WPA2-PSKの無線アクセスポイントに接続するには

入力画面で共有鍵を入力するだけで接続できます。

※本製品の「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」認証で使用できる暗号化方式は「AES」だけです。
ご使用になるときは、接続する無線アクセスポイント側の暗号化方式を「AES」に設定してください。
また、無線アクセスポイント側を「TKIP・AES」に設定している場合は接続できませんのでご注意ください。



入力画面(共有鍵)

登録した無線アクセスポイントの優先順位について

接続する無線アクセスポイントの優先順位を変更するときは、登録した無線アクセスポイントの詳細画面(→P25)で、「上へ移動」「下へ移動」を選択します。

登録した無線アクセスポイントの設定内容を変更するときは

接続する無線アクセスポイントの設定内容を変更するときは、登録した無線アクセスポイントの詳細画面(→P25)で、「編集」を選択して[メニュー]キーを押し、表示された編集画面で設定項目を選択して[メニュー]キーを短く押します。

※[メニュー]キーを長押しすると、エラー画面が表示されることがありますのでご注意ください。

自動接続で接続する

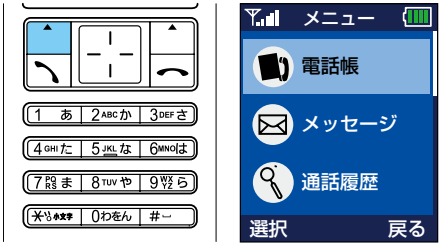
無線ネットワークとの自動接続を、「しない」「優先」「すべて」から設定できます。

（出荷時の設定：優先）

出荷時や全設定初期化時、「優先ネットワーク」（→P23）に登録した一覧の優先順位で自動的に接続できるように設定されています。

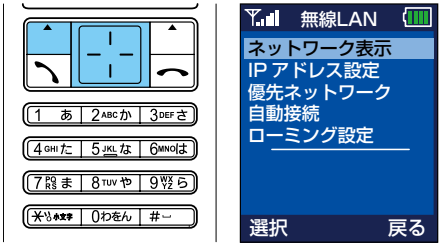
1 **待受画面で[メニュー]キーを押します。**

メインメニューが表示されます。



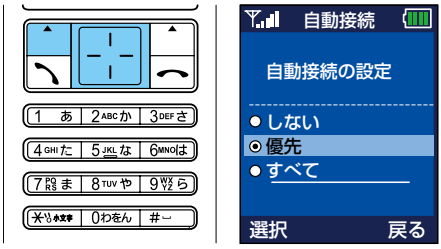
2 **[カーソル(上下)]キーで「無線LAN」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

無線LANメニューが表示されます。



3 **[カーソル(上下)]キーで「自動接続」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

自動接続画面が表示されます。



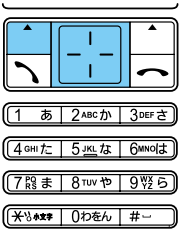
次ページにつづく➔

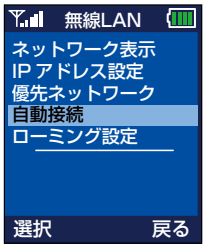
2 無線ネットワークを設定する

自動接続で接続する

4 **[カーソル(上下)]キーで接続方法を選択し、[メニュー]キーを押します。**

設定が有効になり、無線LANメニューに戻ります。





自動接続で「すべて」を選択したときは

暗号化が設定されていない無線アクセスポイントなど、接続できる無線アクセスポインがすべて対象になります。

DHCPサーバ機能が無効になっている無線ネットワークや、弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)と異なるネットワークに接続した場合は、通話できないことがありますので、待受画面で接続状況(→P4)をご確認ください。

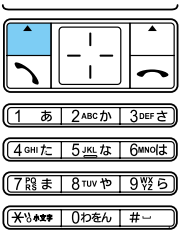
3 SIP（簡易中継サーバ）を設定する

弊社製VoIP機器（簡易中継サーバ）に接続するため、「SIPユーザ名、認証名（内線番号）」「パスワード」「SIPサーバアドレス（IPアドレス）」をプロファイルとして登録します。

※VP-71本体の設定をはじめる前に、弊社VoIP機器（簡易中継サーバ）側で、内線番号やパスワードなどの設定を完了してください。

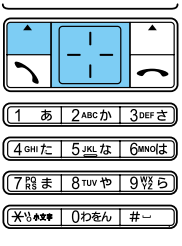
1 **待受画面で[メニュー]キーを押します。**

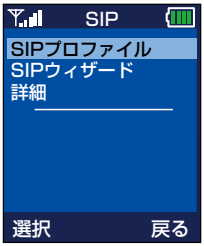
メインメニューが表示されます。



2 **[カーソル(上下)]キーで「SIP」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

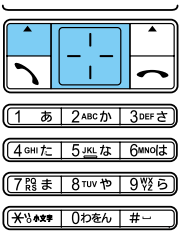
SIPメニューが表示されます。

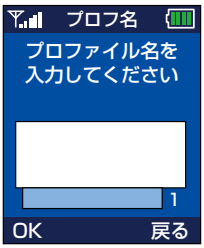




3 **[カーソル(上下)]キーで「SIPウィザード」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

プロファイル名の入力画面が表示されます。

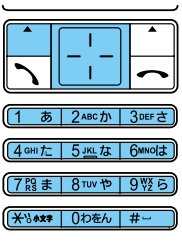


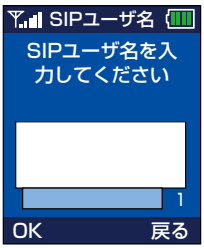


4 **任意の名称（1～12字以内）を入力し、[メニュー]キーを2回押します。**

SIPユーザ名入力画面が表示されます。

※表示名の設定は必要ありません。



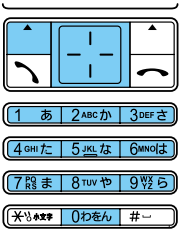


3 SIP（簡易中継サーバ）を設定する

5 **「ユーザ名（内線番号）」を入力し、[メニュー]キーを押します。**

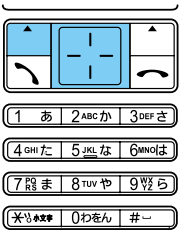
コールタイプ選択画面が表示されます。

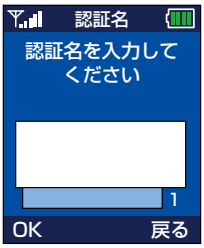
※画面上の「直接」は使用できません。



6 **[カーソル(上下)]キーで「SIPサーバ」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

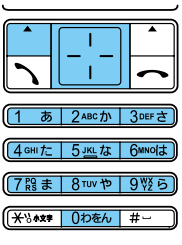
認証名入力画面が表示されます。

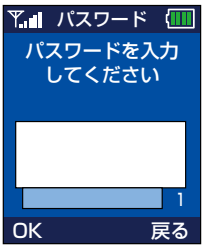




7 **「認証名（内線番号）」を入力し、[メニュー]キーを押します。**

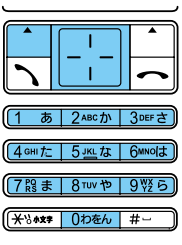
パスワード入力画面が表示されます。

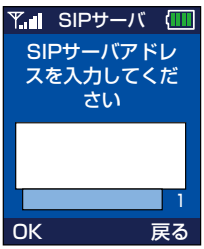




8 **「パスワード」を入力し、[メニュー]キーを押します。**

SIPサーバアドレス入力画面が表示されます。

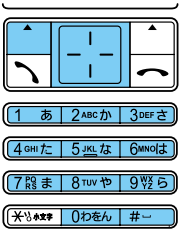


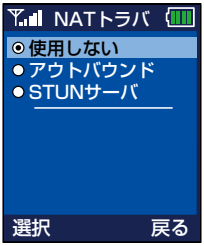


9 **接続する弊社製VoIP機器のIPアドレスを入力し、[メニュー]キーを2回押します。**

NATトラバーサル画面が表示されます。

※ドメインの入力は必要ありません。

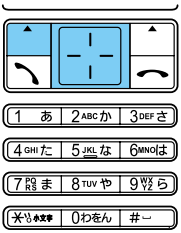


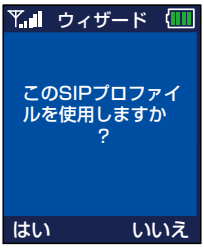


10 **「使用しない(指定がない場合)」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

ウィザード画面が表示されます。

※この画面で、「いいえ」を選択すると、設定を保存し待受画面に戻ります。

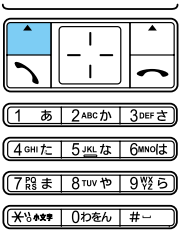


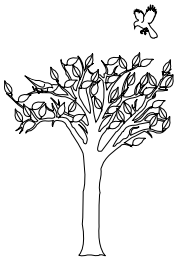


11 **[メニュー]キーを押します。**

待受画面に戻り、「登録済み」が表示されたら設定完了です。

※「未登録」が表示されたときは、設定内容の確認や弊社製VoIP機器の状況を確認してください。





操作について

第3章

この章では、
本製品を使用する場合の基本的な操作を説明しています。

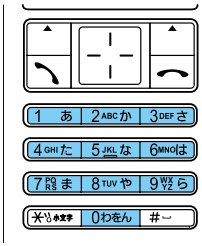
1 通話 …… 34
電話をかける…… 34
電話を受ける…… 35
電話をかけなおす(通話履歴)…… 36
相手の声の大きさを調整する…… 37
着信音の大きさを調整する…… 37
着信音を変える(パターン/音量) …… 38
バイブレーター機能を使うには…… 40
2 文字入力 …… 42
文字の入力モードを切り替える…… 42
各キーの文字割り当て…… 43
漢字を入力する…… 44
3 電話帳 …… 46
電話帳に登録する…… 46
電話帳から電話をかける…… 48
電話帳を編集する…… 50
通話履歴から登録する…… 52
4 短縮ダイヤル …… 54
短縮ダイヤルに登録する…… 54
短縮ダイヤルで電話をかける…… 55
5 メッセージ …… 56
メッセージを作成して送信する…… 56
受信したメッセージを読む…… 58
6 保留・転送 …… 60
通話を自己保留する…… 60
通話を転送する(応答確認なし)…… 61
通話を転送する(応答確認あり)…… 62
7 パーク保留・応答 …… 63
パーク保留する…… 63
パーク応答する…… 64

1 通話

電話をかける

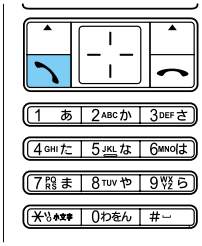
1 **待受画面で**
[ダイヤル]キーを押し、
電話番号を入力します。

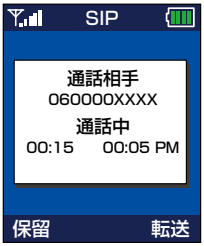
※一般加入電話にかけるときは、市外局番から入力してください。



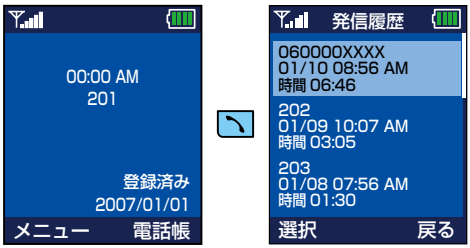
2 **[通話]キーを押します。**

通話を終了するときは、[終了]キーを押します。





【発信履歴を確認するときは】
待受画面で、[通話]キーを押すと、履歴内容を一覧で確認できます。

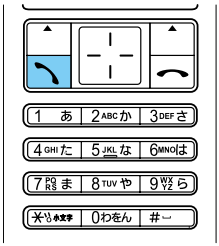


電話を受ける

着信中に
[通話]キーを押します。

通話を終了するときは、[終了]キーを押します。

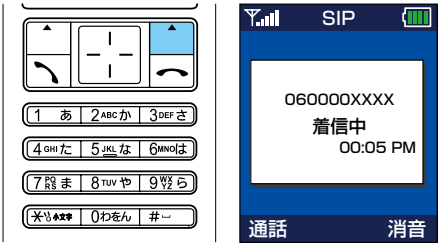
※着信中の画面には、相手の電話番号または電話帳に登録された名前を表示します。



【着信音を消音したいときは】

着信中に、[電話帳]キーを押すと、鳴っている着信音(振動も含む)を一時的に停止できます。

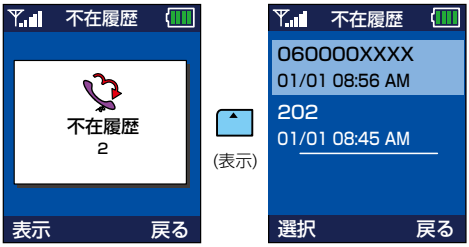
※着信を切断する、または通話を終了すると、着信音は元に戻ります。



【電話に出られなかったときは】

不在着信と件数を表示してお知らせします。

[メニュー]キーを押すと、履歴内容を一覧で確認できます。



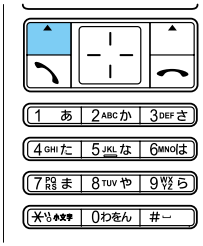
1 通話

電話をかけなおす(通話履歴)

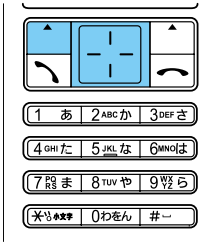
通話履歴には、不在、着信、発信の最新の履歴が合計50件(不在、着信、発信を合わせて)まで記憶され、50件を超えると、古い履歴から消去されます。

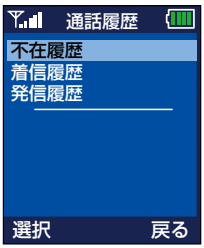
例) 着信履歴から電話をかけなおす場合

1 **待受画面で**
[メニュー]キーを押します。
メインメニューが表示されます。

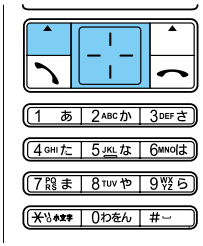


2 **[カーソル(上下)]キーで**
「通話履歴」を選択し、
[メニュー]キーを押します。
通話履歴メニューが表示されます。

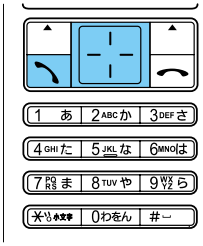




3 **[カーソル(上下)]キーで**
「着信履歴」を選択し、
[メニュー]キーを押します。
着信履歴一覧が表示されます。



4 **[カーソル(上下)]キーで**
かけなおしたい履歴を選択し、
[発信]キーを押します。
選択した履歴の電話番号に発信します。

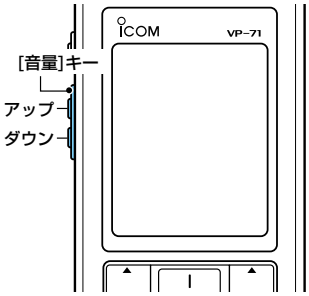


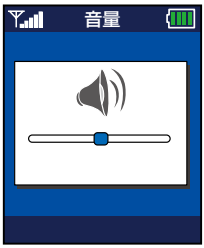
相手の声の大きさを調整する

通話中に
[音量]キーを押します。

受話音量は、5段階(レベル1～5)で調整できます。

※調整した音量は、保留音と共用されます。





(レベル 3)

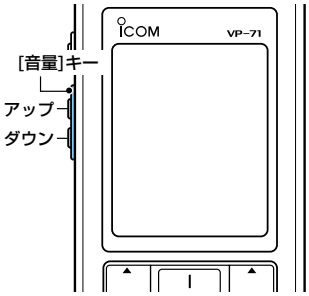
着信音の大きさを調整する

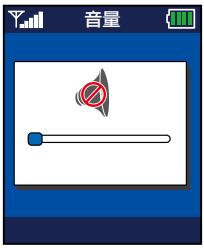
待受中に
[音量]キーを押します。

着信音量は、5段階(レベル0～4)で調整できます。

※「レベル0」にしているときは、マナーモードになり、着信音は鳴りません。

※マナーモード設定時に、着信音量を「レベル1～4」にすると、マナーモードが解除されます。





(レベル 0)

【音を確認しながら調整するときは】

着信音パターンや着信音量など、音を確認しながら調整する場合は、[待受画面]→[メインメニュー]→[設定]→[音]で設定します。詳しくは、次ページ以降をご覧ください。

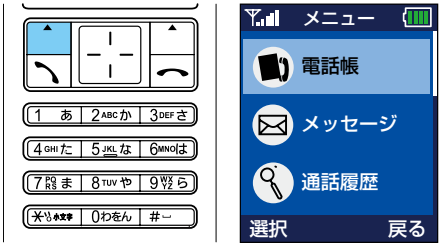
1 通話

着信音を変える(パターン/音量)

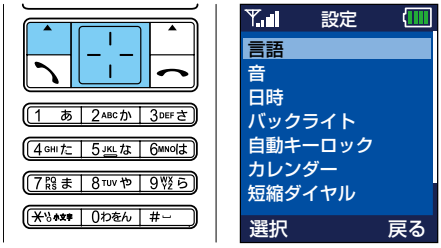
着信音のパターンは、着信音 1～7から選択できます。　（出荷時の設定：着信音 1）

例）着信音パターンを設定して音量を調整する場合

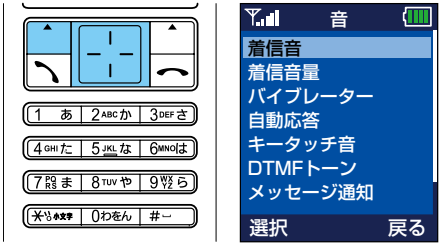
1 **待受画面で**
[メニュー]キーを押します。
メインメニューが表示されます。



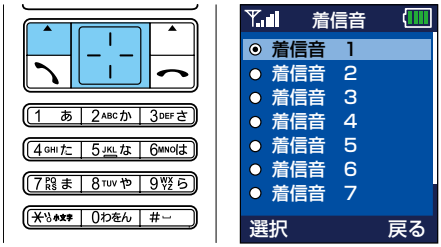
2 **[カーソル(上下)]キーで**
「設定」を選択し、
[メニュー]キーを押します。
設定メニューが表示されます。



3 **[カーソル(上下)]キーで**
「音」を選択し、
[メニュー]キーを押します。
音関連項目一覧が表示されます。

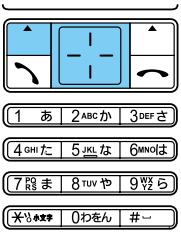


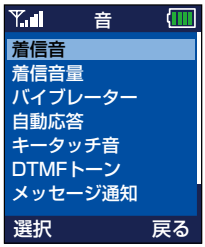
4 **[メニュー]キーを押します。**
着信音一覧が表示されます。
※確認したい着信音を[カーソル(上下)]キーで選択すると、約2秒後に選択した着信音を再生できます。



5 **[カーソル(上下)]キーで着信音を選択し、[メニュー]キーを押します。**

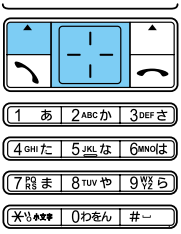
設定が有効になり、音関連項目一覧に戻ります。

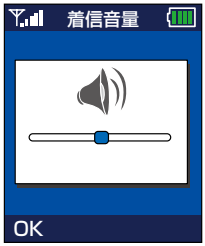




6 **[カーソル(上下)]キーで「着信音量」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

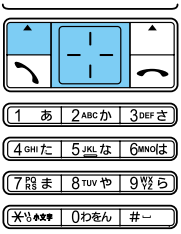
着信音量画面が表示され、手順5で選択した着信音が鳴ります。





7 **[カーソル(上下)]キー、または[音量(アップ/ダウン)]キーで着信音量を調整し、[メニュー]キーを押します。**

設定が有効になり、音関連項目一覧に戻ります。
[終了]キーを押すと、待受画面に戻ります。



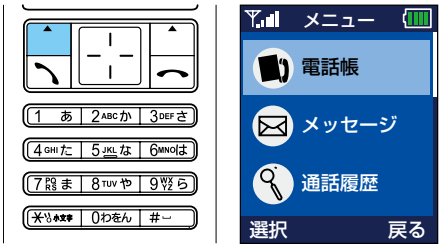
3 操作について

1 通話

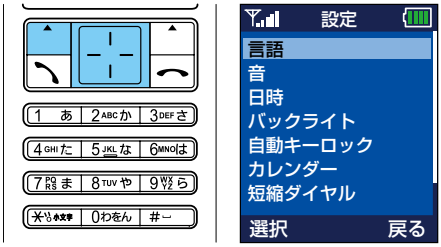
バイブレーター機能を使うには

着信時やメッセージ受信時、振動でもお知らせする機能です。　（出荷時の設定：自動）
※マナーモード(→P41)を設定すると、音を鳴らさずに振動だけでお知らせします。
　充電時は、設定に関係なくバイブレータ機能は「オフ」になります。

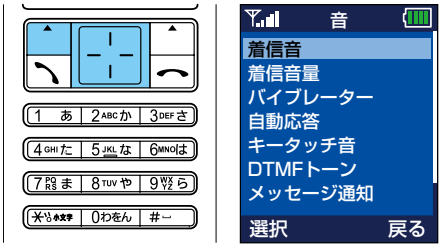
1 **待受画面で**
[メニュー]キーを押します。
メインメニューが表示されます。



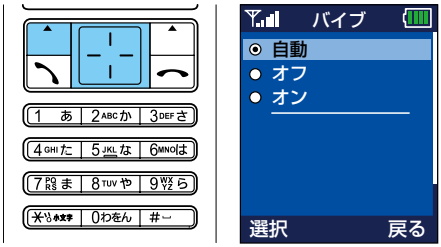
2 **[カーソル(上下)]キーで**
「設定」を選択し、
[メニュー]キーを押します。
設定メニューが表示されます。



3 **[カーソル(上下)]キーで**
「音」を選択し、
[メニュー]キーを押します。
音関連項目一覧が表示されます。

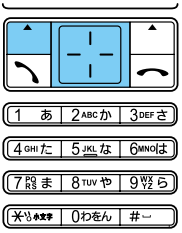


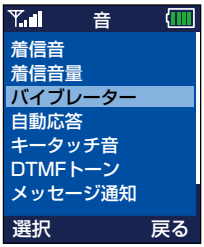
4 **[カーソル(上下)]キーで**
「バイブレーター」を選択し、
[メニュー]キーを押します。
バイブレーター画面が表示されます。
※「自動」では、マナーモードを設定すると有効になりますが、「オン」では、マナーモードの設定に関係なく着信時に振動します。



5 **[カーソル(上下)]キーで「オン」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

設定が有効になり、音関連項目一覧に戻ります。
[終了]キーを押すと、待受画面に戻ります。



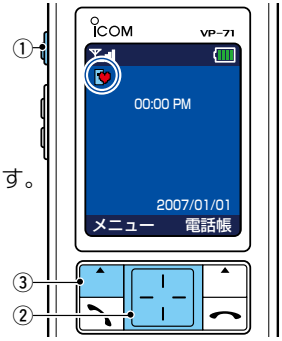


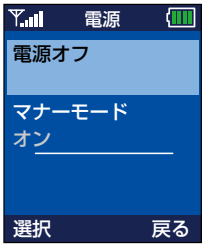
【マナーモードにするには】

①[電源]ボタンを短く押します。
電源画面が表示されたことを確認します。

②[カーソル(上下)]キーで、マナーモード(オン)を選択します。

③[メニュー]キーを押します。
設定が有効になり、待受画面に戻ります。
画面にアイコンが表示されたことを確認します。





(電源画面)

※バイブレーターの設定が「オフ」のときは、サイレントモード(消音)になります。

2 文字入力

電話帳の登録やメッセージの作成など、文字の入力が必要です。
本製品では、記号、数字、英字、漢字、ひらがな、カタカナが入力できます。

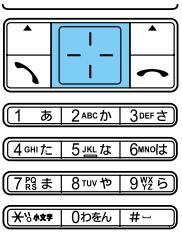
文字の入力モードを切り替える

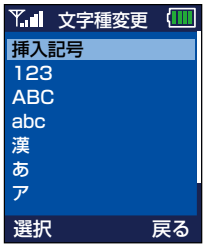
例）電話帳を登録する入力画面の場合

1 **電話帳の入力画面で(→P46)[カーソル(下)]キーを押します。**

入力モード一覧が表示されます。

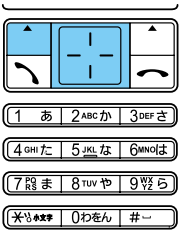
※暗号化設定の入力画面で[カーソル(下)]キーを押した場合は、HEX(16進数)入力モードが選択できます。（下図参照）





2 **[カーソル(上下)]キーで入力モードを選択し、[メニュー]キーを押します。**

入力画面の下部に、現在の入力モードが表示されます。



【使用できる記号について】

「（スペース）」、「ー(長音)」など記号を入力するときは、挿入記号入力モードに切り替え、画面上で選択します。

※電話帳の名前には、「@(アットマーク)」「'(アポストロフィー)」「"(ダブルコーテーション)」を使用できませんのでご注意ください。

（通常の文字入力）

（暗号化設定の場合）

(選択)

各キーの文字割り当て

1つのキーに複数の文字が割り当てられています。キーをくりかえし押して、目的の文字を表示します。

例）ひらがなモードで

1 あ を1回→ 2回→ 3回→ 4回→ 5回→ 6回…
あ い う え お あ…

キー	ひらがな	カタカナ	英字(大)	英字(小)	数字	HEX
1 あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	――	――	1	1
2ABCか	かきくけこ	カキクケコヵ	ABC	abc	2	2abc
3DEFさ	さしすせそ	サシスセソ	DEF	def	3	3def
4GHIた	たちつてとっ	タチツテトッ	GHI	ghi	4	4
5JKLな	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL	jkl	5	5
6MNOは	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO	mno	6	6
7PQRSま	まみむめも	マミムメモ	PQRS	pqrs	7	7
8TUVや	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8	8
9WXYZら	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9	9
0わをん	わをんゐゑゎ	ワヲンヰヱヮ	――	――	0	0
＊小文字	゛（濁点）゜（半濁点） 大文字と小文字の切替	゛（濁点）゜（半濁点） 大文字と小文字の切替	＊．	＊．	＊．	――
#空白	――――	――――	#	#	#	――

濁点、半濁点の入力や大文字と小文字の切り替えは、文字を入力した後に、＊（アスタリスク）を押します。

例）つ→っ→づ→つ　は→ば→ぱ→は

入力できる文字数について

入力モード一覧（→P42）で、「全角」を選択したときは、入力できる文字数が「半角(数字/英字)」を選択したときの１／３になります。

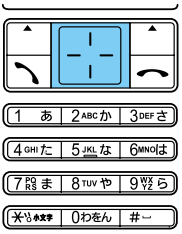
2 文字入力

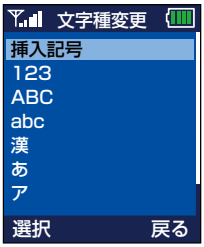
漢字を入力する

例）電話帳の名前入力画面で「大阪」と入力する場合

1 **電話帳の入力画面で(→P46)**
[カーソル(下)]キーを押します。

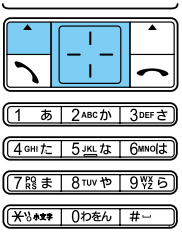
入力モード一覧が表示されます。

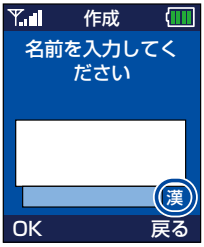




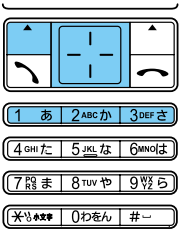
2 **[カーソル(上下)]キーで**
入力モードを選択し、
[メニュー]キーを押します。

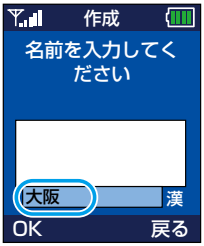
入力画面の下部に、現在の入力モードが表示されます。





3 **1 あ を5回(お)、**
[カーソル(右)]キーで
カーソル移動、
1 あ を5回(お)、
3DEF さ を1回(さ)、
2ABC か を1回(か)を押し、
[カーソル(下)]キーを押します。

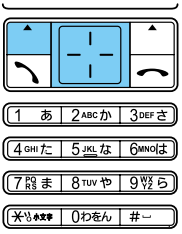


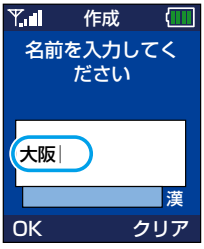


漢字に変換されます。
※続けて押すと、候補が変わります。
※一定時間内に入力操作をしないと、カーソルが移動して、次の入力になります。

4 **[メニュー]キーを押します。**

「大阪」が入力されたことを確認します。

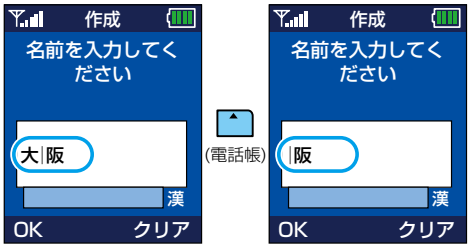




【入力した文字を消す】

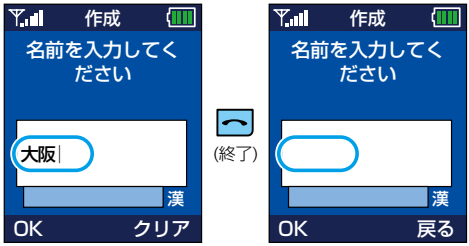
・1文字消す

消したい文字の右側にカーソルを移動し、
[電話帳]キーを押します。



・すべて消す

[終了]キーを押すと、テキストボックス内の
すべて文字を消去します。



3 電話帳

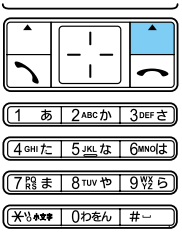
電話帳に登録する

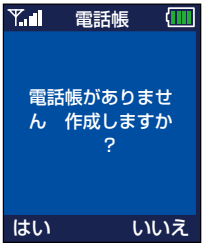
よくかける相手の電話番号などを100件まで登録できます。

例）電話帳に名前・内線番号を登録する（出荷時の場合）

1 **待受画面で[電話帳]キーを押します。**

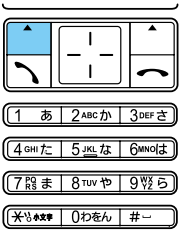
※出荷時、電話帳に何も登録されていないため、右図が表示されます。

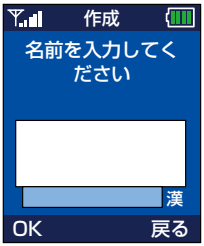




2 **[メニュー]キーを押します。**

名前の入力画面が表示されます。

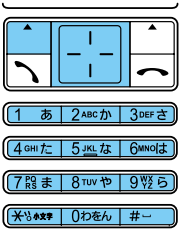


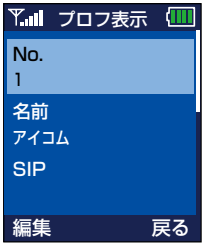


3 **任意の名前（1～45字以内）を入力し、[メニュー]キーを押します。**

詳細画面が表示されます。

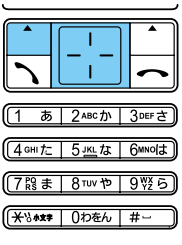
※電話帳の名前には、「@」「 」「 "」を使用できませんのでご注意ください。





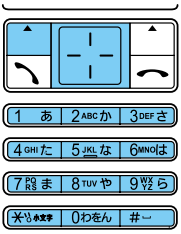
4 **[カーソル(上下)]キーで「SIP」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

SIP（内線番号）入力画面が表示されます。



5 **内線番号を入力し、**
[メニュー]キーを押します。

詳細画面が表示されます。
[終了]キーを押すと、待受画面に戻ります。



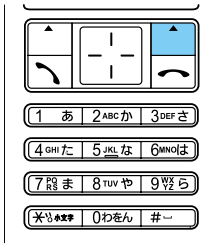
【一般加入電話を登録する場合】
会社や自宅など外線へ発信する番号は、市外局番から入力してください。
「SIP（内線番号）」以外では、1件につき、「携帯」「会社」「自宅」の番号を登録できます。
登録する場合は、手順4～5の操作をくりかえしてください。

3 電話帳

電話帳から電話をかける

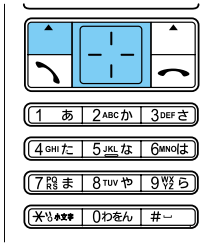
1 **待受画面で**
[電話帳]キーを押します。

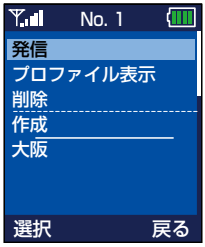
電話帳一覧が表示されます。



2 **[カーソル(上下)]キーで**
電話帳を選択し、
[メニュー]キーを押します。

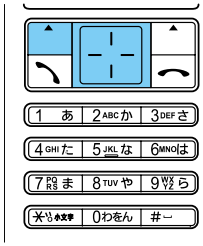
詳細画面が表示されます。





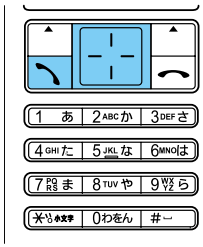
3 **「発信」を選択し、**
[メニュー]キーを押します。

選択した電話帳に登録されている番号が表示されます。



4 **[カーソル(上下)]キーで**
電話番号を選択し、
[発信]キーを押します。

選択した電話番号に発信します。



【登録した電話帳の検索について】

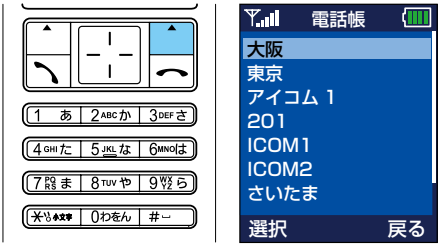
電話帳一覧を表示しているときに[ダイヤル]キーを押すと、該当する番台にカーソルが移動します。(下表参照)

キー	表示する番台	キー	表示する番台
1 あ	No.1～	6MNOは	No.51～
2ABCか	No.11～	7PQRSま	No.61～
3DEFさ	No.21～	8TUVや	No.71～
4GHIた	No.31～	9WXYZら	No.81～
5JKLな	No.41～	0わをん	No.91～

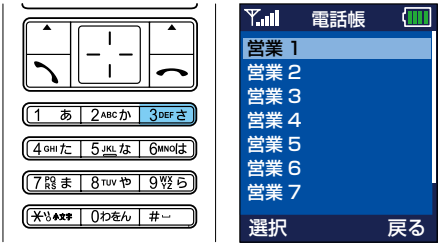
例) No.21の電話帳を検索する場合

下記の手順で操作すると、電話帳一覧が切り替わり、シフト表示します。
該当する番台の電話帳が登録されていないときは、No.1以降の電話帳(7件分)を表示します。

①待受画面で
[電話帳]キーを押します。
電話帳一覧(No.1以降の電話帳(7件分))が表示されます。



②[3]を押します。
カーソルが移動して、No.21以降の電話帳(7件分)を表示します。

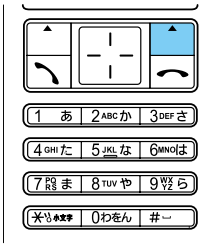


3 電話帳

電話帳を編集する

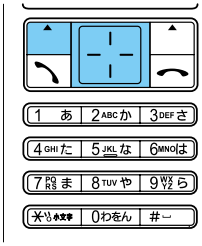
1 **待受画面で**
[電話帳]キーを押します。

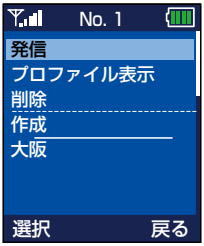
電話帳一覧が表示されます。



2 **[カーソル(上下)]キーで**
電話帳を選択し、
[メニュー]キーを押します。

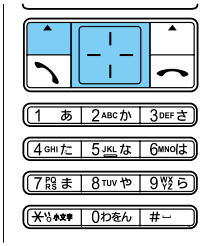
詳細画面が表示されます。
※「削除」を選択すると、一覧から削除されます。

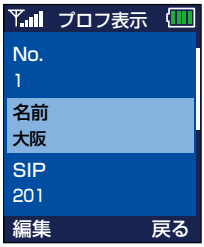




3 **「プロファイル表示」を選択し、**
[メニュー]キーを押します。

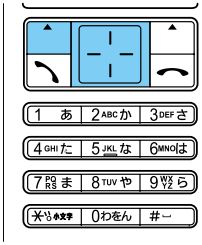
選択した電話帳に登録されている内容が表示されます。

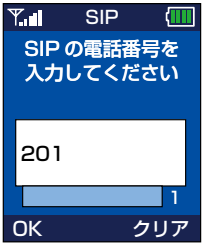




4 **[カーソル(上下)]キーで**
編集する項目を選択し、
[メニュー]キーを押します。

選択した項目の入力画面(例：SIP)が表示されます。





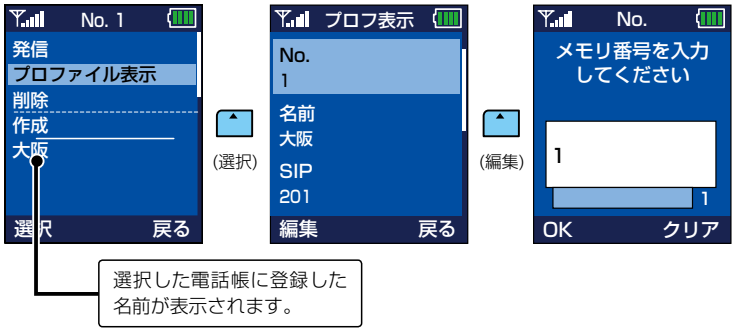
5 **内容を編集し、[メニュー]キーを押します。**

編集した内容が上書き登録されます。

【電話帳の表示順について】

登録した電話帳は、「No.1～100」の番号順で表示し、登録した番号を変更すると、順番が入れ替わります。

使用されていない番号(No.)の中で小さいものから順に自動的に登録されますので、登録後、必要に応じて電話帳を編集します。



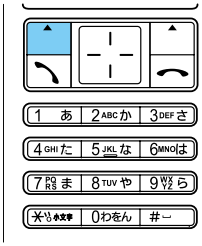
3 電話帳

通話履歴から登録する

例）着信履歴から電話帳に登録する

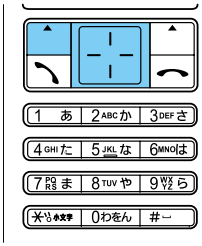
1 **待受画面で**
[メニュー]キーを押します。

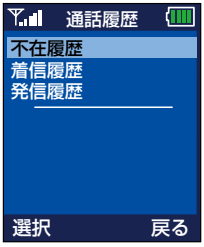
メインメニューが表示されます。



2 **[カーソル(上下)]キーで**
「通話履歴」を選択し、
[メニュー]キーを押します。

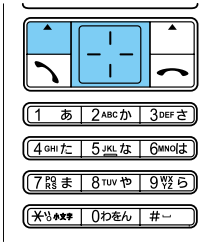
通話履歴メニューが表示されます。





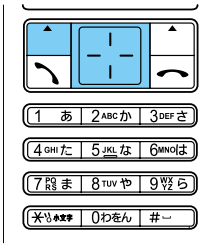
3 **[カーソル(上下)]キーで**
「着信履歴」を選択し、
[メニュー]キーを押します。

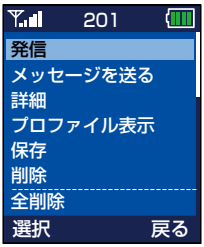
着信履歴一覧が表示されます。



4 **[カーソル(上下)]キーで**
登録する履歴を選択し、
[メニュー]キーを押します。

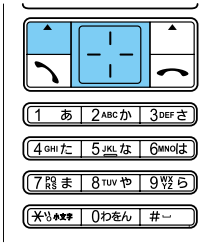
選択した履歴の詳細画面が表示されます。

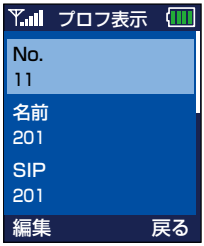




5 **[カーソル(上下)]キーで「保存」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

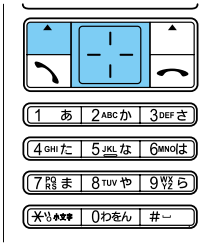
選択した履歴が登録されます。





6 **名前などを編集(→P50)し、[メニュー]キーを押します。**

編集した内容が上書き登録されます。



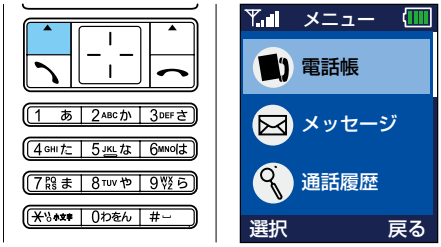
4 短縮ダイヤル

短縮ダイヤルに登録する

よくかける相手の電話番号を10件まで短縮ダイヤルに登録できます。

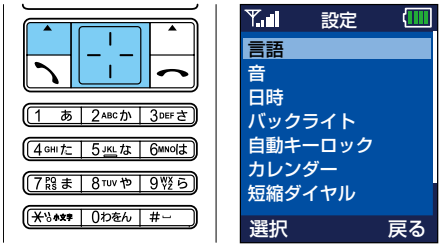
1 **待受画面で**
[メニュー]キーを押します。

メインメニューが表示されます。



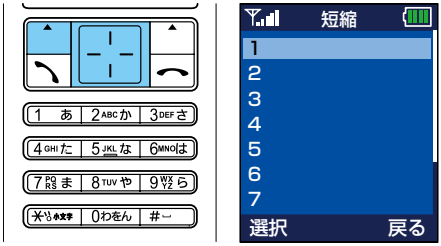
2 **[カーソル(上下)]キーで**
「設定」を選択し、
[メニュー]キーを押します。

設定メニューが表示されます。



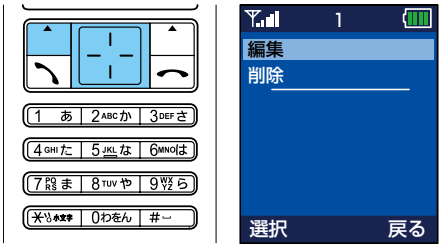
3 **[カーソル(上下)]キーで**
「短縮ダイヤル」を選択し、
[メニュー]キーを押します。

短縮ダイヤル一覧が表示されます。



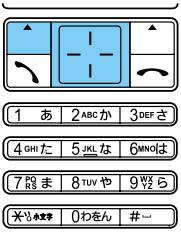
4 **[カーソル(上下)]キーで**
登録する番号を選択し、
[メニュー]キーを押します。

選択した番号の詳細画面が表示されます。



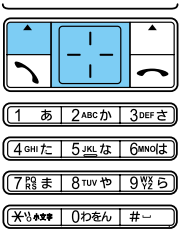
5 **[カーソル(上下)]キーで「編集」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

電話番号入力画面が表示されます。



6 **電話番号を入力し、[メニュー]キーを押します。**

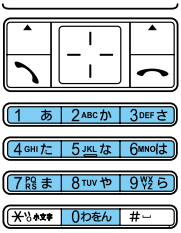
詳細画面が表示されます。
[終了]キーを押すと、待受画面に戻ります。

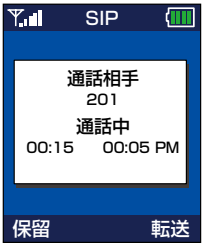


短縮ダイヤルで電話をかける

待受画面で登録した短縮ダイヤルの[ダイヤル]キーを2秒以上押します。

登録した電話番号に発信します。





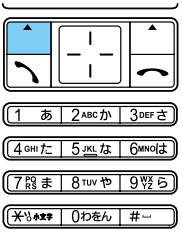
5 メッセージ

メッセージを作成して送信する

VP-71どうしで全角85(半角255)文字までのメッセージを電話番号で送受信できます。
※あらかじめ弊社製VoIP機器の[簡易中継サーバ設定]項目の「内線ドメイン」を、VoIPサーバのIPアドレスに設定する必要があります。

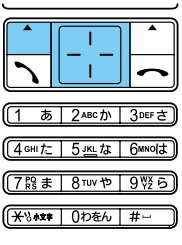
1 **待受画面で[メニュー]キーを押します。**

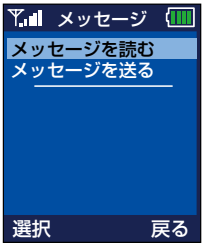
メインメニューが表示されます。



2 **[カーソル(上下)]キーで「メッセージ」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

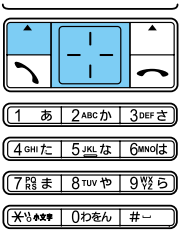
メッセージメニューが表示されます。

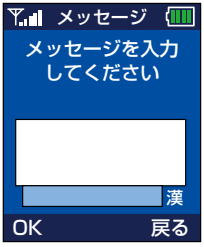




3 **[カーソル(上下)]キーで「メッセージを送る」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

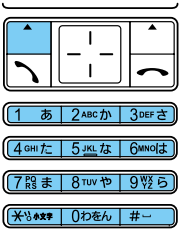
メッセージ入力画面が表示されます。

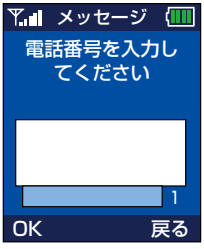




4 **メッセージ(全角85(半角255)文字以内)を入力し、[メニュー]キーを押します。**

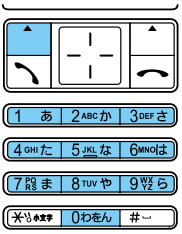
電話番号入力画面が表示されます。

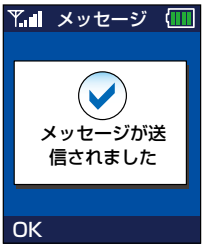




5 **[ダイヤル]キーを押し、電話番号を入力します、[メニュー]キーを押します。**

メッセージが送信されると、確認画面が表示されます。



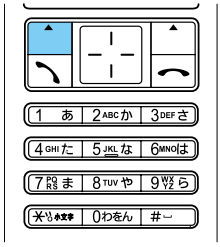


【通話履歴から送信するには】
送信する相手を一覧から選択し、表示された詳細画面で「メッセージを送る」を選択すると、メッセージ入力画面が表示されます。

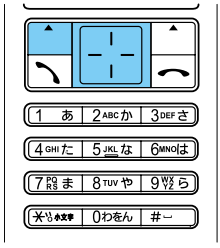
受信したメッセージを読む

受信したメッセージが10件になると、「[icon]」を表示してお知らせします。
※10件を超えると、古いメッセージから消去されますのでご注意ください。

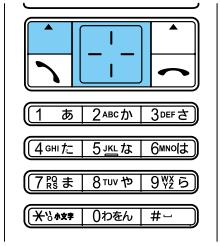
1 **待受画面で**
[メニュー]キーを押します。
メインメニューが表示されます。



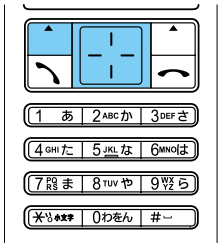
2 **[カーソル(上下)]キーで**
「メッセージ」を選択し、
[メニュー]キーを押します。
メッセージメニューが表示されます。



3 **[メニュー]キーを押します。**
メッセージ一覧画面が表示されます。

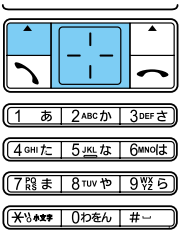


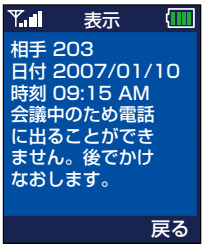
4 **[カーソル(上下)]キーで**
メッセージを選択し、
[メニュー]キーを押します。
詳細画面が表示されます。



5 **[カーソル(上下)]キーで「表示」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

メッセージ全文が表示されます。





【メッセージを返信する場合は】

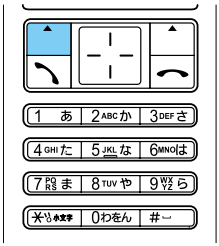
返信するメッセージを一覧から選択し、表示された詳細画面で「返信」を選択すると、メッセージ入力画面が表示されます。

6 保留・転送

通話を自己保留する

通話中に
[メニュー]キーを押します。

保留を解除するときは、
もう一度[メニュー]キーを押します。

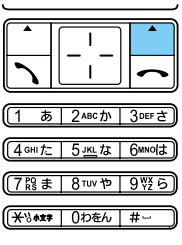


通話を転送する(応答確認なし)

1 **通話中に**
[電話帳]キーを押します。

転送先入力画面が表示されます。

保留を解除するときは、
もう一度[電話帳]キーを1回押します。

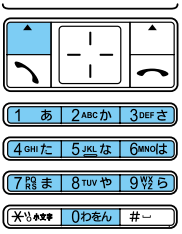


2 **電話番号を入力し、**
[メニュー]キーを押します。

転送先に発信して、呼出中画面が表示されます。

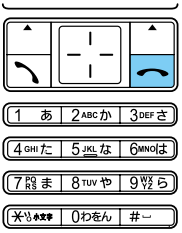
【電話帳を登録している場合は】
[メニュー]キーを押して、電話帳から転送先を選択することもできます。

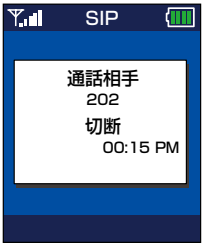
【短縮ダイヤルに登録している場合は】
登録した短縮ダイヤルの[ダイヤル]キーを2秒以上押します。



3 **呼出中に**
[終了]キーを押します。

通話が切断され、直接転送されると、
待受画面に戻ります。





【転送できなかったときは】
弊社製VoIP機器側で設定している時間内に、転送先が応答しなかったときは、転送元に着信します。
[通話]キーを押すと、元の通話に戻ります。
※保留中の相手を転送元の電話帳に登録していない場合は、着信したときに「＊＊RECALL＊＊」を表示します。

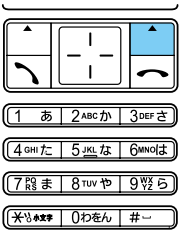
6 保留・転送

通話を転送する(応答確認あり)

1 **通話中に**
[電話帳]キーを押します。

転送先入力画面が表示されます。

保留を解除するときは、
もう一度[電話帳]キーを1回押します。

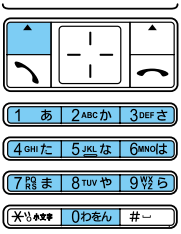


2 **電話番号を入力し、**
[メニュー]キーを押します。

転送先に発信して、呼出中画面が表示されます。

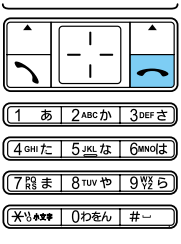
【電話帳に登録している場合は】
[メニュー]キーを押して、電話帳から転送先を選択することもできます。

【短縮ダイヤルに登録している場合は】
登録した短縮ダイヤルの[ダイヤル]キーを2秒以上押します。



3 **転送先が応答したら**
[終了]キーを押します。

通話が切断され、待受画面に戻ります。



【転送できなかったときは】
弊社製VoIP機器側で設定している時間(パークリコール時間)内に、転送先が応答しなかったときは、転送元の画面に「切断」を表示します。
[電話帳]キーを押すと、元の通話に戻ります。

7 パーク保留・応答

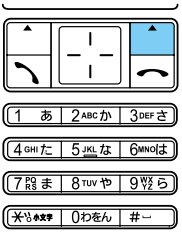
パーク保留する

弊社製VoIP機器で設定した「パーク保留番号(設定例：＊2)」+「任意の番号(1～6)」を下記の手順で入力すると、パーク保留できます。

1 **通話中に**
[電話帳]キーを押します。

転送先入力画面が表示されます。

保留を解除するときは、
もう一度[電話帳]キーを1回押します。



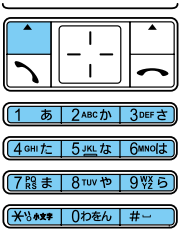
2 **「パーク保留番号」+**
「任意の番号(1～6)」を入力し、
[メニュー]キーを押します。

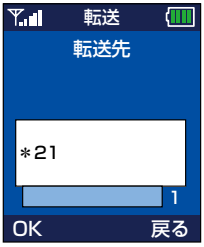
マルチ接続画面が表示されます。

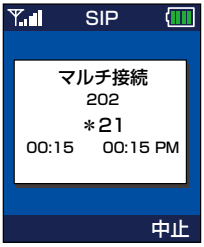
※説明には、「＊2」+「1」を入力した場合の画面を使用しています。

【電話帳に登録している場合は】
[メニュー]キーを押して、電話帳から選択することもできます。

【短縮ダイヤルに登録している場合は】
登録した短縮ダイヤルの[ダイヤル]キーを2秒以上押します。

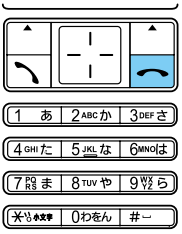


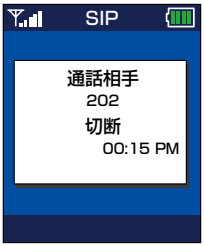




3 **[終了]キーを押します。**

通話が切断され、待受画面に戻ります。





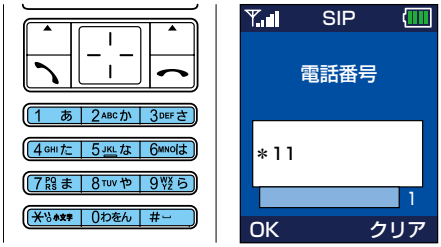
7 パーク保留・応答

パーク応答する

弊社製VoIP機器で設定した「パーク応答番号(設定例：＊1)」+「保留時に指定した番号(1～6)」を、下記の手順で入力すると、パーク応答できます。

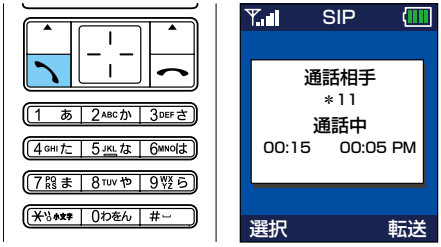
1 **待受画面で「パーク応答番号」+「保留時に指定した番号(1～6)」を入力します。**

※説明には、「＊1」+「1」を入力した場合の画面を使用しています。



2 **[通話]キーを押します。**

通話を終了するときは、[終了]キーを押します。



【パーク保留・応答するときは】

通話中にパーク保留すると、どの内線電話からも応答できます。

最大6件までパーク保留できます。

※弊社製VoIP機器側で設定している、「パーク保留番号」「パーク応答番号」をご確認ください。

その他の基本設定

第 4 章

この章では、
設定の確認や変更が必要な項目について説明しています。

1 SIP…… 66
　詳細…… 66
2 設定 …… 67
　言語…… 67
　音…… 67
　日時設定…… 68
　NTP設定 …… 69
　バックライト…… 70
　自動キーロック…… 70
　カレンダー…… 70
　短縮ダイヤル…… 71
　自動設定…… 71

WEB設定画面について

本製品のWEB設定画面では、VP-71本体で設定できない、ファームウェアの更新、設定ファイルの保存なども操作できます。詳しくは本書6章をご覧ください。

1 SIP

詳細

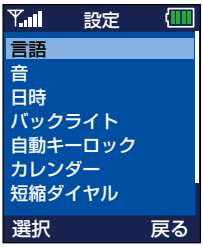
「SIP」→「詳細」

弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)への接続や音声についての詳細な設定です。

※音声に問題がないときは、出荷時の設定のままでご使用ください。

項目	内容	出荷時の設定
有効期限	SIPサーバへの登録有効期限を設定します。 設定できる範囲は、「30～86400(秒)」です。	720
音声符号化方式	IP電話で、発信するときの音声符号化方式を「G.711(PCMU)」「G.711(PCMA)」「G.729」から選択できます。	G.711(PCMU)
Tos/Diffserv	IPヘッダーのTOSフィールド値を設定します。 設定できる範囲は、「00～ff(16進数)」です。 TOSフィールドは、[TOS]または[DIFFSERVE]のどちらか一方をネットワーク内の設定にあわせて使用します。	00 (TOSを使用しない)
セッション	SIPのセッションタイマ拡張(RFC4028)を使用できます。 「する」に設定した場合は、下記の項目が有効になります。 有効期限　180　(90～86400(秒)) タイプ　re-INVITE　(re-INVITE/UPDATE)	しない
受信バッファ	音声を受信したとき、音声データを蓄えるサイズを「大」「中」「小」から選択できます。 蓄えるサイズが小さいほど遅延は少なくなりますが、音声が途切れやすくなります。	大
マイクゲイン	本製品のマイクゲインを「4(最大)」「3」「2」「1」から選択できます。 周りの騒音が大きい場所では、マイクゲインを下げ大きめの声で会話することにより、通話相手が聞きやすい音声になります。	4(最大)

2 設定



言語

「設定」→「言語」

ディスプレイに表示される言語を、「英語」「日本語」から選択できます。

（出荷時の設定：日本語）

音

「設定」→「音」

VP-71で使用する音についての設定項目です。

項目	内容	出荷時の設定
着信音	着信したときの着信音パターンを「着信音 1～着信音 7」から選択できます。 ※サイレントモード（またはマナーモード）時、無効になります。	着信音 1
着信音量	着信したときの着信音量を「レベル0～レベル4」から選択できます。 ※「レベル0」を設定すると、サイレントモードになります。	レベル2
バイブレーター	着信を振動でお知らせする機能です。 ※充電時は、設定に関係なく「オフ」になります。	自動
自動応答★	「オン」に設定すると、イヤホンマイク接続時、着信後自動的に通話状態になるため、VP-71本体にふれずに応答できます。	オフ
キータッチ音	「オン」に設定すると、キー操作確認音が鳴るようになります。 ※マナーモード時には無効になります。	オフ
DTMFトーン	VP-71のボタンを押したときに相手へ送る信号方式を、「Inband」「outband」「SIP Info」から選択できます。	Inband
メッセージ通知	メッセージの受信を音で通知する機能です。 ※マナーモード時には無効になります。	オン

★本製品のWEB設定画面からは操作できない項目です。

2 設定

日時設定

「設定」→「日時」→「日時設定」

手動で日付と時刻、表示形式を設定します。

項目	内容	出荷時の設定
時刻	本製品の時刻を設定します。	00：00 AM
時刻表示形式	時刻表示形式を「HH:mm」「H:mm」「hh:mm tt」「h:mm tt」「tt hh:mm」「tt h:mm」から選択できます。 例） 午前4時5分を表示する場合、 HH:mm →「04：05」 H:mm →「4：05」 hh:mm tt→「04：05 AM」 h:mm tt →「4：05 AM」 tt hh:mm→「AM 04：05」 tt h:mm →「AM 4：05」になります。 ※「tt」では、「AM/PM」を追加表示します。	hh:mm tt
時刻区切り文字	時刻区切り文字を「：」「.」から選択できます。	:
日付	本製品の時刻を設定します。	2007/01/01
日付表示形式	日付表示形式を「yyyy mm dd」「mm dd yyyy」「dd mm yyyy」から選択できます。 「yyyy」は「西暦」、「mm」は「月」、「dd」は「日」を表示します。	yyyy mm dd
日付区切り文字	日付区切り文字を「/」「：」「.」「-」から選択できます。	/

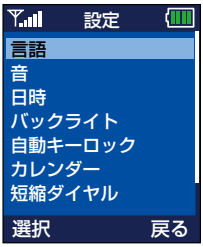
NTP設定

「設定」→「日時」→「NTP設定」

自動で日付と時刻を設定します。

項目	内容	出荷時の設定
NTPから取得	本製品の自動時計設定機能を設定します。 「する」に設定すると、インターネット上に存在するタイムサーバに日時の問い合わせをして、日時と時刻を自動設定します。	しない
更新間隔	タイムサーバにアクセスする間隔を「12時間」「1日」「2日」「3日」から選択できます。 回線に手動で接続したとき、前回アクセスした日から設定した日数が経過しているときは、接続時にタイムサーバにアクセスします。 回線への常時接続を設定しているときは、設定した日数にしたがってアクセスします。	12時間
NTPサーバ1～3	最初にアクセスさせたいタイムサーバのIPアドレスを「NTPサーバ1」に入力します。 初期に参照しているNTPサーバーは、インターネットマルチフィード株式会社のものです。 http://www.jst.mfeed.ad.jp/ 「NTPサーバ1」の次にアクセスさせるタイムサーバがあるときは、そのIPアドレスを「NTPサーバ2」、「NTPサーバ3」に入力します。 返答がないときは、再度「NTPサーバ1」で設定したタイムサーバにアクセスします。	210.173.160.27 (NTPサーバ1)

2 設定



バックライト★

「設定」→「バックライト」

キーを押したときに点灯するディスプレイ照明とキー照明の点灯時間を、「5秒」「15秒」「30秒」から選択できます。（出荷時の設定：15秒）

自動キーロック★

「設定」→「自動キーロック」

待受中に誤ってキーが押されても動作しないようにする機能です。

（出荷時の設定：オフ）

「オン」に設定して、約1分以上操作しない状態になると、自動的にキーをロックします。

ロックを解除するときは、[メニュー]キーを押し、2秒以内に[＊(アスタリスク)]キーを押すか、電源を入れなおします。

※ロック中でも着信時の操作(応答、受話音量の調整)はできます。

カレンダー★

「設定」→「カレンダー」

本製品に設定された日時のカレンダーを表示します。

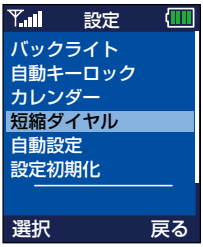
[カーソル(上下)]キーを押すと、カレンダーをスクロールできます。

※色分けは、右図のように、あくまでも土日のみとなります。

祝日については、特に色分けはしていません。

（上図は、表示例です）

★本製品のWEB設定画面からは操作できない項目です。



短縮ダイヤル

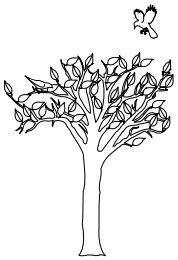
「設定」→「短縮ダイヤル」

よくかける相手の電話番号を10件まで短縮ダイヤルに登録できます。
短縮ダイヤルを割り当てた[ダイヤル]キーを2秒以上押すと、登録した電話番号に発信します。

自動設定

「設定」→「自動設定」

VP-71自動設定ツール(別途提供品)を使用するための設定です。
詳しくはVP-71自動設定ツールに付属の取扱説明書をご覧ください。



保守について

第5章

この章では、
本製品の設定内容の保存、初期化やファームウェアのバージョンアップを確認する手順などについて説明しています。

1 設定画面へのアクセスを制限するには …… 74
　設定のしかた…… 74
2 設定内容の確認／保存 …… 75
　保存のしかた…… 75
3 保存された設定の書き込み …… 77
　書き込みかた…… 77
4 設定を出荷時の状態に戻す …… 79
　A メニューから「設定初期化」を選択する…… 79
　B 設定画面を使用する…… 80
5 ファームウェアをバージョンアップする …… 81
　ファームウェアについて…… 81
　バージョンアップについてのご注意…… 82
　ファイルを指定して更新する…… 83

WEB設定画面について

本製品が無線ネットワークに接続している環境でWEB設定画面にアクセスすると、VP-71本体で設定できない、ファームウェアの更新、設定ファイルの保存なども操作できます。

5 保守について

1 設定画面へのアクセスを制限するには

管理者用の[ユーザネーム]と[パスワード]を設定することで、管理者以外がWWWブラウザから本製品の設定を変更できないようにします。

設定のしかた

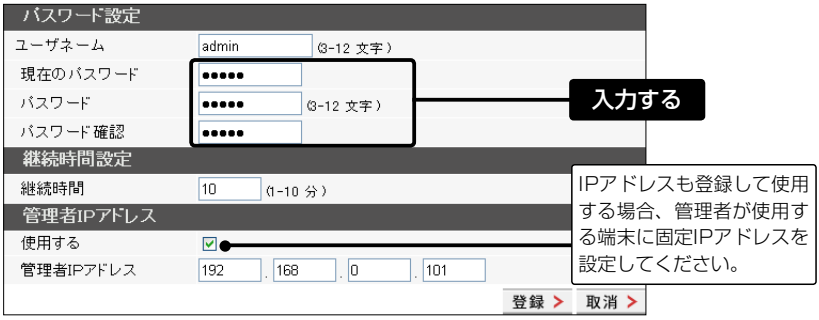
「システム」➔**「管理者設定」**

大文字/小文字の区別に注意して入力してください。

1 **本製品の設定画面にアクセスします。(→1-7章)**

2 **「システム」メニュー、[管理者設定]を順にクリックします。**
「管理者設定」画面が表示されます。

3 **現在のパスワード(出荷時の設定：admin)、**
新しいパスワードを、任意の半角英数字(3～12文字以内)で入力します。
※入力したパスワードは、すべて「＊(アスタリスク)」または「●(黒丸)」で表示されます。



※上図は、管理者IPアドレスも設定した場合の設定例です。
※ユーザーネームを変更するときは、[ユーザネーム]欄に新しいユーザーネームを任意の半角英数字(3～12文字以内)で入力します。

4 **〈登録〉をクリックします。**
ログオフしてログイン画面(→P13)が表示されたら、設定した[パスワード]を入力します。

2 設定内容の確認／保存

本製品の設定画面で変更された内容を確認したり、その内容を設定ファイルとしてパソコンに保存できます。

保存のしかた

「システム」➔「設定ツール」

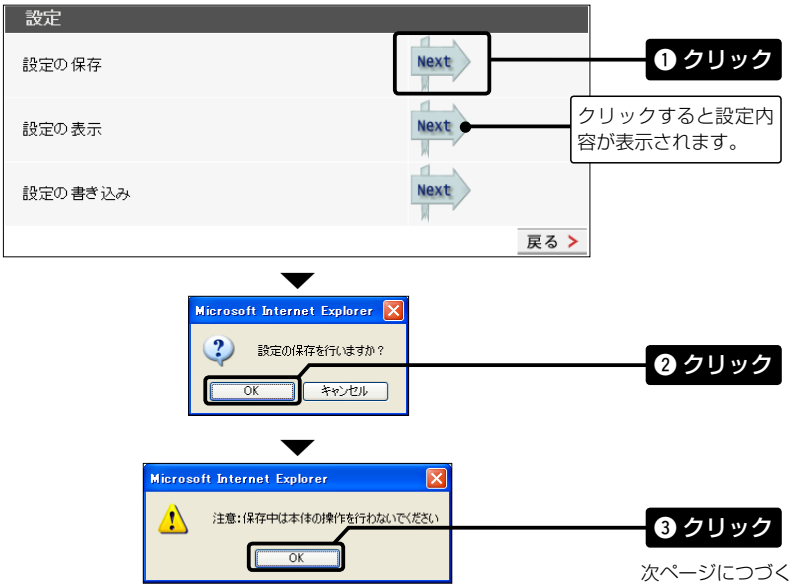
保存中は、VP-71本体を操作しないでください。

1 **本製品の設定画面にアクセスします。(→1-7章)**

2 **「システム」メニュー、[設定ツール]を順にクリックします。**
「設定ツール」画面が表示されます。

3 **[設定の保存/設定の表示/設定の書き込み]の [Next]をクリックします。**

4 **[設定の保存]の [Next]をクリックし、**
確認画面が表示されたら、〈OK〉をクリックします。



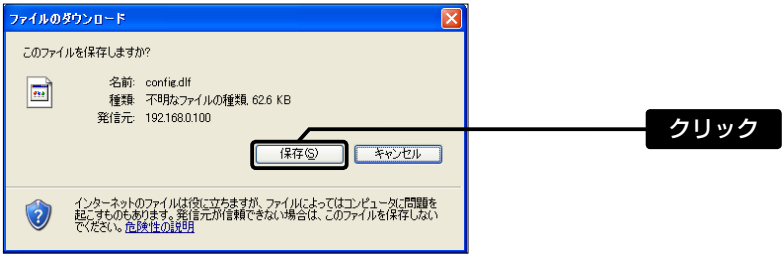
次ページにつづく➔

2 設定内容の確認／保存

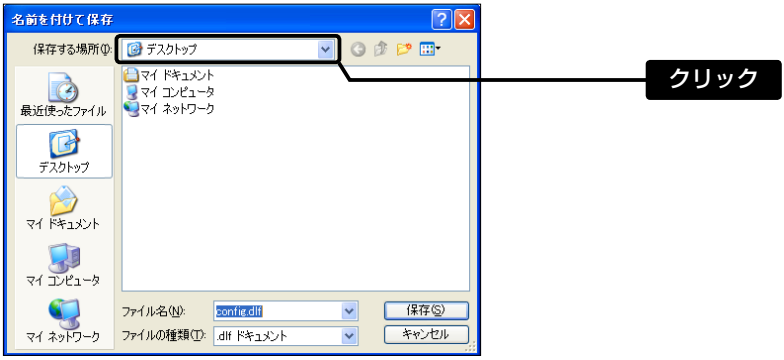
保存のしかた 「システム」→**「設定ツール」**

5 **「ファイルのダウンロード」画面の〈保存(S)〉をクリックします。**

「名前を付けて保存」画面(別画面)を表示します。



6 **「名前を付けて保存」画面の [保存する場所(I)]をクリックし、保存する場所を選択します。**



7 **「名前を付けて保存」画面の〈保存(S)〉をクリックします。**

「.dlf」の拡張子がついた設定ファイルが、選択した場所に保存されます。

3 保存された設定の書き込み

保存した設定ファイル(→5-2章)を本製品に書き込む手順を説明します。

書き込みかた

「システム」➔「設定ツール」

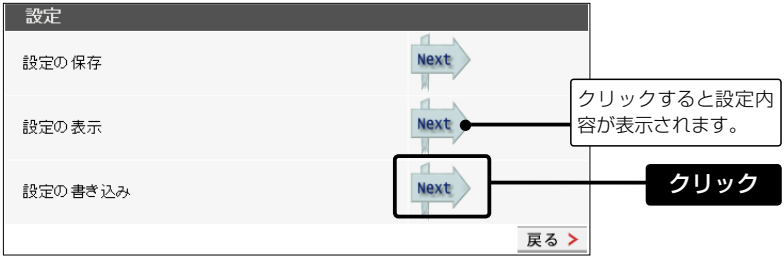
書き込み中は、VP-71本体を操作しないでください。
※書き込み完了後、VP-71本体の電源を入れなおし、再起動する必要がありますのでご注意ください。

1 **本製品の設定画面にアクセスします。(→1-7章)**

2 **「システム」メニュー、[設定ツール]を順にクリックします。**
「設定ツール」画面が表示されます。

3 **[設定の保存/設定の表示/設定の書き込み]の [Next]をクリックします。**

4 **[設定の書き込み]の [Next]をクリックします。**



5 **設定ファイルへの保存先を指定するため、〈参照...〉をクリックします。**
「ファイルの選択」画面(別画面)を表示します。

次ページにつづく ➔

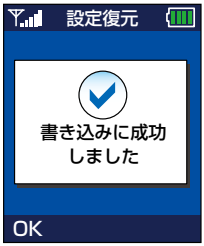
3 保存された設定の書き込み

書き込みかた　「システム」→**「設定ツール」**

6 **保存された設定ファイルを指定して、〈開く(O)〉をクリックします。**
「保存したファイルを書き込む」欄のテキストボックスに、保存先が表示されます。

7 **[設定の書き込み]の〈登録〉をクリックし、**
確認画面が表示されたら、〈OK〉をクリックします。
※ファイルサイズによっては、書き込みに数分かかる場合があります。

8 **メッセージ画面を確認して、**
VP-71本体の電源を入れなおします。
※右図の状態で[メニュー]キーを押すと、設定を有効にするため電源が切れますので、もう一度電源を入れてください。



⚠注意
保存した設定ファイルは、保存した機器固有のものです。
本製品の設定ファイルを同じ機種どうしや本製品以外の機種に書き込まないでください。
本製品の設定ファイルを本製品以外の機器に組み込んだり、改変したことによる障害、および本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失あるいは停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

4 設定を出荷時の状態に戻す

本製品を出荷時の状態に戻すときは、そのときの状況に応じて、次の2とおりの方法があります。

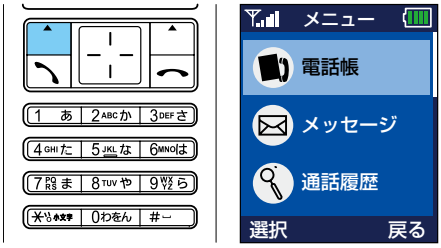
Ⓐ メニューから「設定初期化」を選択する
※本製品に設定された管理者IPアドレスなどが不明な場合など、WEB設定画面を呼び出せないとき

Ⓑ WEB設定画面を使用する (→P80)

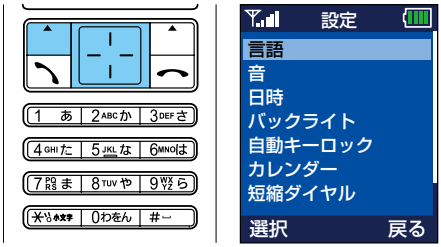
Ⓐ メニューから「設定初期化」を選択する

初期化を実行すると、すべての設定項目が出荷時の状態になります。

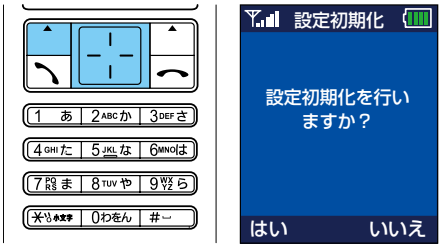
1 **待受画面で**
[メニュー]キーを押します。
メインメニューが表示されます。



2 **[カーソル(上下)]キーで**
「設定」を選択し、
[メニュー]キーを押します。
設定メニューが表示されます。



3 **[カーソル(上下)]キーで**
「設定初期化」を選択し、
[メニュー]キーを押します。
設定初期化画面が表示されます。



4 **[メニュー]キーを押します。**
すべての内容が出荷時の状態に戻り、電源が切れますので、もう一度電源を入れてください。

4 設定を出荷時の状態に戻す

本製品に設定されたIPアドレスなどがわかっていて、そのIPアドレスで設定画面にアクセスできるときは、本製品の設定画面から、すべての設定を出荷時の状態に戻せます。

B 設定画面を使用する

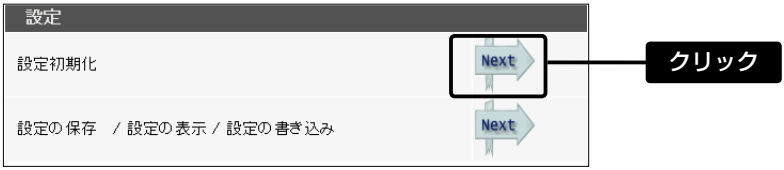
「システム」➔「設定ツール」

IPアドレスが不明な場合などの初期化については、79ページをご覧ください。

1 **本製品の設定画面にアクセスします。(→1-7章)**

2 **「システム」メニュー、[設定ツール]を順にクリックします。**
「設定ツール」画面が表示されます。

3 **[設定初期化]の [Next]をクリックします。**
「設定初期化」画面を表示します。



4 **[設定初期化]の〈実行〉をクリックし、**
確認画面が表示されたら、〈OK〉をクリックします。

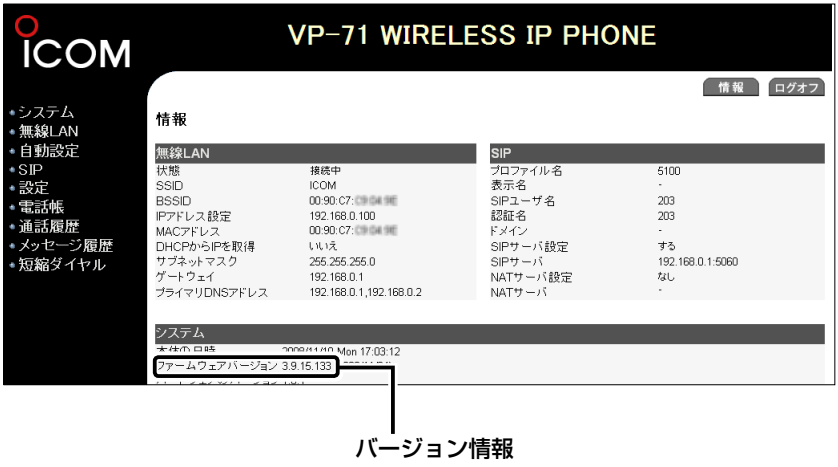
5 **メッセージ画面を表示したら、本製品の初期化が完了です。**
すべての内容が出荷時の状態に戻り、電源が切れますので、もう一度電源を入れてください。

5 ファームウェアをバージョンアップする

本製品のWEB設定画面からファームウェアをバージョンアップできます。

ファームウェアについて

本製品を動作させるために、出荷時から本製品のフラッシュメモリーに書き込まれているプログラムです。
このプログラムは、機能の拡張や改良のため、バージョンアップされることがあります。
バージョンアップの作業をする前に、本製品のWEB設定画面やVP-71本体でバージョン情報をご確認ください。
バージョンアップをすると、機能の追加など、本製品を最良の状態にできます。



※上図は、バージョン情報の表示例です。

5 ファームウェアをバージョンアップする

バージョンアップについてのご注意

◎バージョンアップすることで、本製品の設定内容が初期化される内容もありますので、ファームウェアファイルをダウンロードするとき、弊社ホームページに記載の内容をご確認ください。
また、現在の設定をメモなどにとることをおすすめします。

◎本製品と無線アクセスポイントとの距離は、1m以内にしてください。

◎ファームウェアの更新中は、絶対に本製品や無線アクセスポイント、パソコンの電源を切らないでください。
途中で電源を切ると、データの消失や故障の原因になります。

◎ウィルス対策ソフトまたはインターネットセキュリティソフト、ご使用のパソコンでファイアウォール機能を利用している場合は、それらのファイアウォール機能を「無効」にしてください。
ファイアウォール機能が動作していると、バージョンアップできないことがあります。

◎複数台でご使用の場合は、1台ずつバージョンアップしてください。

◆記載する操作の結果については、自己責任の範囲となりますので、次のことを守って作業を始めてください。
弊社ホームページ(http://www.icom.co.jp/)より提供される本製品のアップデート用ファームウェアファイルを、本製品以外の機器に組み込んだり、改変や分解したことによる障害、および本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失あるいは停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ファイルを指定して更新する

「システム」→「ファームウェア更新」

バージョンアップの前に、現在の設定ファイルの保存(→5-2章)をおすすめします。

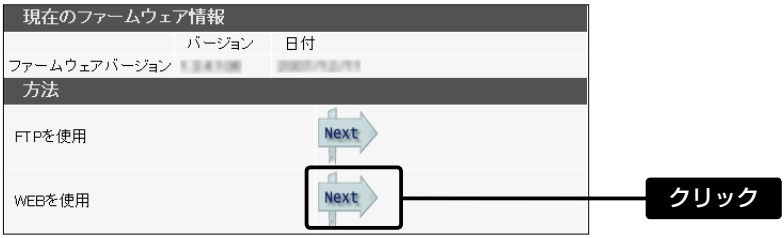
※バージョンアップ後、既存の設定内容が初期化されるファームウェアファイルがありますので、ダウンロードするときは、弊社ホームページに記載の内容をご確認ください。

1 **本製品の設定画面にアクセスします。(→1-7章)**

2 **「システム」メニュー、[ファームウェア更新]を順にクリックします。**

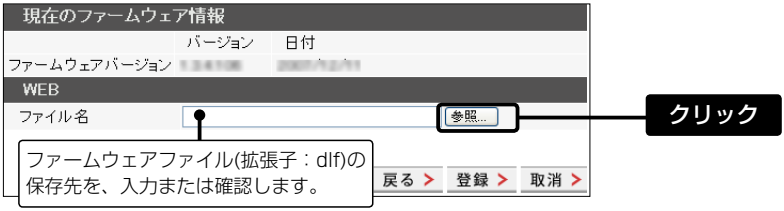
「ファームウェア更新」画面が表示されます。

3 **[WEBを使用]の [Next]をクリックします。**



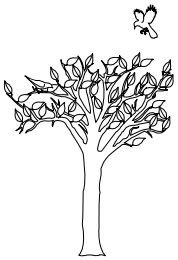
4 **弊社ホームページよりダウンロードしたファームウェアファイル(拡張子：dlf)の保存先を、次のどちらかの方法で指定します。**

・[ファームウェアファイルを指定]項目のテキストボックスに直接入力する
・〈参照...〉をクリックして指定する



5 **[WEB]の〈登録〉をクリックし、確認画面が表示されたら、〈OK〉をクリックします。**

選択したファームウェアの更新を完了すると、メッセージを表示します。
設定を有効にするため、VP-71本体を再起動してください。



WEB設定画面について

第6章

この章では、
本製品のWEB設定画面の各項目について説明しています。

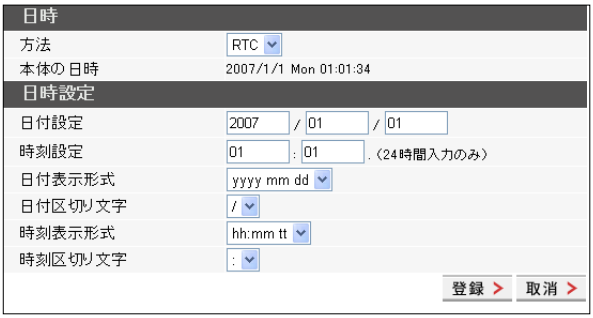
1 システム …… 86
日時設定(手動)…… 86
日時設定(自動)…… 87
管理者設定…… 88
ファームウェア更新…… 89
設定ツール…… 90
無線LAN …… 90
SIP …… 91
システム…… 91
2 無線LAN …… 92
APプロファイル …… 92
ネットワーク表示…… 93
IPアドレス設定 …… 94
3 自動設定 …… 95
自動設定 …… 95
4 SIP…… 96
プロファイル…… 96
アカウント…… 97
詳細…… 98
5 設定 …… 99
言語…… 99
音…… 99
6 電話帳 ……100
電話帳 ……100
7 通話履歴 ……101
通話履歴 ……101
8 メッセージ履歴 ……102
履歴……102
9 短縮ダイヤル ……103
短縮ダイヤルリスト……103

1 システム

日時設定(手動)

「システム」→「日時設定」

手動で日付と時刻、表示形式を設定します。 (出荷時の設定：RTC)



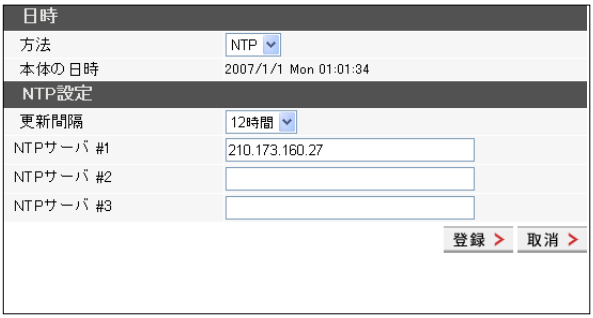
※上図は、設定方法を「RTC（手動）」にした場合の画面です。

項目	内容	出荷時の設定
方法	本製品の時刻設定方法を「RTC」「NTP」から選択できます。	RTC
本体の日時	現在設定されている本体の時刻を表示します。	
日付設定	本製品の日付を設定します。	2007/01/01
時刻設定	本製品の時刻を設定します。	00：00 AM
日付表示形式	日付表示形式を「yyyy mm dd」「mm dd yyyy」「dd mm yyyy」から選択できます。 「yyyy」は「西暦」、「mm」は「月」、「dd」は「日」を表示します。	yyyy mm dd
日付区切り文字	日付区切り文字を「/」「：」「.」「-」から選択できます。	/
時刻表示形式	時刻表示形式を「HH:mm」「H:mm」「hh:mm tt」「h:mm tt」「tt hh:mm」「tt h:mm」から選択できます。 例） 午前4時5分を表示する場合、 HH:mm →「04：05」 H:mm →「4：05」 hh:mm tt→「04：05 AM」 h:mm tt →「4：05 AM」 tt hh:mm→「AM 04：05」 tt h:mm →「AM 4：05」になります。 ※「tt」では、「AM/PM」を追加表示します。	hh:mm tt
時刻区切り文字	時刻区切り文字を「：」「.」から選択できます。	:

日時設定(自動)

「システム」→「日時設定」

自動で日付と時刻、表示形式を設定します。 (出荷時の設定：RTC)



※上図は、設定方法を「NTP(自動)」にした場合の画面です。

項目	内容	出荷時の設定
方法	本製品の時刻設定方法を「RTC」「NTP」から選択できます。 「NTP」に設定すると、インターネット上に存在するタイムサーバに日時の問い合わせをして、日時と時刻を自動設定します。	RTC
本体の日時	現在設定されている本体の時刻を表示します。	
更新間隔	タイムサーバにアクセスする間隔を「12時間」「1日」「2日」「3日」から選択できます。 回線に手動で接続したとき、前回アクセスした日から設定した日数が経過しているときは、接続時にタイムサーバにアクセスします。 回線への常時接続を設定しているときは、設定した日数にしたがってアクセスします。	12時間
NTPサーバ#1～#3	最初にアクセスさせたいタイムサーバのIPアドレスを「NTPサーバ#1」に入力します。 初期に参照しているNTPサーバーは、インターネットマルチフィード株式会社のものです。 http://www.jst.mfeed.ad.jp/ 「NTPサーバ#1」の次にアクセスさせるタイムサーバがあるときは、そのIPアドレスを「NTPサーバ#2」、「NTPサーバ#3」に入力します。 返答がないときは、再度「NTPサーバ#1」で設定したタイムサーバにアクセスします。	210.173.160.27 (NTPサーバ#1)

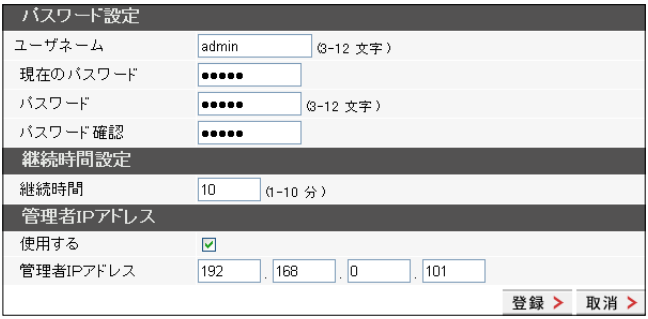
6 WEB設定画面について

1 システム

管理者設定

「システム」→「管理者設定」

WEB設定画面へのアクセスを制限するための設定です。



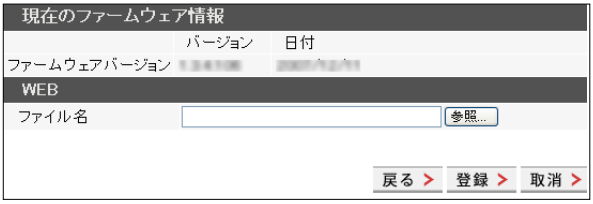
※上図は、パスワードを変更して管理者IPアドレスを設定した場合の設定例です。

項目	内容	出荷時の設定
パスワード設定	WEB設定画面にアクセスするための、ユーザーネームやパスワードを変更するときに使用します。 設定できる範囲は、「3～12(文字)」です。 出荷時は、「admin」に設定されていますので、必要に応じて変更してください。 ※ユーザーネームやパスワードが不明な場合は、出荷時の状態に戻すことになりますのでご注意ください。	admin
継続時間設定	WEB設定画面にアクセスしたときに、何も操作しないと自動的にログアウトするまでの時間です。 設定できる範囲は、「1～10(分)」です。	10(分)
管理者IPアドレス	WEB設定画面にアクセスするパソコンを制限するときに使用します 管理者が使用するパソコンには固定IPアドレスを設定することをおすすめします。 ※IPアドレスが不明な場合は、出荷時の状態に戻すことになりますのでご注意ください。	使用しない

ファームウェア更新

「システム」→「ファームウェア更新」

ファームウェアの確認と更新をするための設定です。



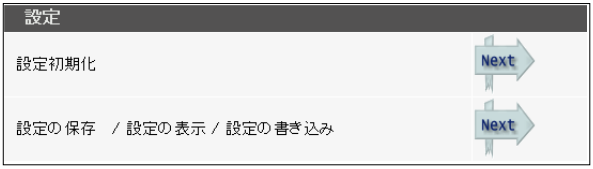
項目	内容	出荷時の設定
現在のファームウェア情報	ファームウェアのバージョンと更新日を表示します。	
方法	ファームウェアの更新方法で、「WEBを使用」を選択します。 表示された画面でパソコンに保存したファイルを指定して、〈登録〉をクリックすると、更新を開始します。 ※「FTPを使用」は、本製品では使用できません。	

1 システム

設定ツール

「システム」→「設定ツール」

設定内容をファイルに保存したり、設定を初期化するとき使用します。

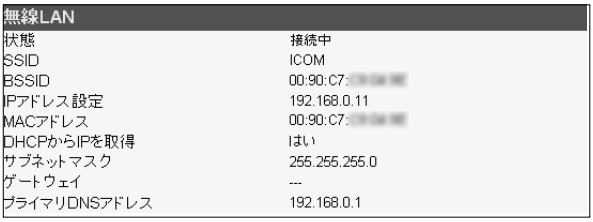


項目	内容	出荷時の設定
設定初期化	本製品を出荷時の状態に戻すときに使用します。 初期化完了後は、取得したIPアドレスを確認しなおしてください。	
設定の保存/設定の表示/設定の書き込み	ファームウェアの更新をする前など、設定ファイルの保存や内容を確認するときに、[Next]をクリックします。 ※設定ファイルを書き込んだ後は、IPアドレスなど設定内容をご確認ください。	

無線LAN

「システム」→「情報」→「無線LAN」

無線ネットワークの接続状態を表示します。

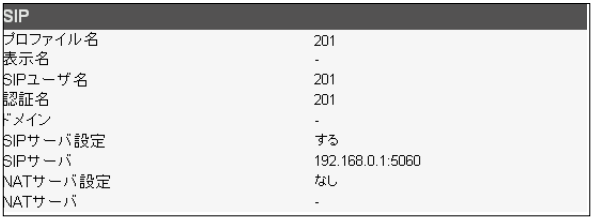


項目	内容	出荷時の設定
BSSID	接続している無線アクセスポイントのBSSIDです。	
IPアドレス設定	取得(または設定)したIPアドレスです。	
MACアドレス	VP-71本体のMACアドレスです。	

SIP

「システム」→「情報」→「SIP」

弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)の接続状態を表示します。



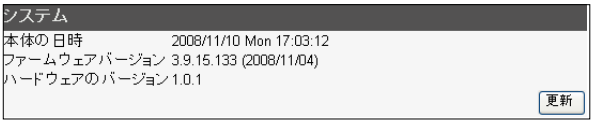
項目	内容	出荷時の設定
プロファイル名	現在使用しているVP-71本体に登録したプロファイル名です。	
SIPユーザ名/認証名	現在使用しているVP-71本体の内線番号です。 ※パスワードは、VP-71本体で確認できます。	

システム

「システム」→「情報」→「システム」

VP-71本体のバージョン情報を表示します。

ファームウェアを更新したときなど、〈更新〉をクリックして情報表示を更新してください。



※上図は、表示例です。

2 無線LAN

APプロファイル

「無線LAN」→「APプロファイル」

無線ネットワークへ接続するためのプロファイルと優先順位を設定します。

※上図は、一覧からSSID「ICOM」を選択し〈編集〉をクリックしたときの表示例です。

項目	内容	出荷時の設定
〈上へ〉〈下へ〉	接続する無線ネットワークの優先順位を入れ替えるときに使用します。	
SSID	接続する無線ネットワーク名です。 ※「 "(ダブルコーテーション)」は使用できませんのでご注意ください。	LG
MACアドレス	接続する無線アクセスポイントのBSSIDです。	
暗号化方式(→P93)	「WEP」「WPA-PSK」「WPA2-PSK」から選択します。 ※「WPA-PSK」「WPA2-PSK」を選択した場合は、共有鍵を入力する画面に切り替わります。	なし
認証方式	「WEP」暗号化方式を使用する場合の認証方式を「オープンシステム」「共有キー」から選択します。	
暗号化選択	「WEP」暗号化方式を使用する場合のビット数を「64bit」「128bit」から選択します。	
キーインデックス	「WEP」暗号化方式を使用する場合のキー番号とWEBキー(16進数/ASCII文字)を設定します。 ※「WPA-PSK」「WPA2-PSK」を選択した場合は、共有鍵(ASCII文字/16進数)を設定します。	

ネットワーク表示

「無線LAN」→「ネットワーク表示」

接続できる無線ネットワークを検索するときに使用します。

※上図は、表示例です。

項目	内容	出荷時の設定
〈更新〉	接続できる無線ネットワーク情報を更新するときに使用します。	
〈APプロファイルへ追加〉	接続する無線ネットワークのプロファイルとして登録するときに使用します。	
SSID	検索された無線ネットワーク名です。 ※「ANY接続拒否」を設定している無線アクセスポイントは、「hidden SSID」と表示されます。	
BSSID	検索された無線アクセスポイントのBSSIDです。	
暗号★	検索された無線アクセスポイントに設定している暗号化方式です。 ※暗号化を設定していない無線アクセスポイントは、「なし」と表示します。	
RSSI	検索された無線アクセスポイントのRSSI（電波の強さ）です。 0に近い値ほど電波が強くなります。	
チャンネル	検索された無線アクセスポイントのチャンネルです。	

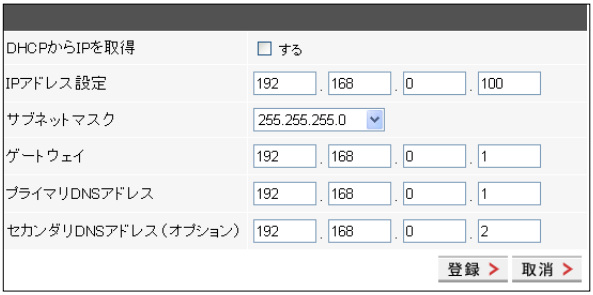
★ 本製品の「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」認証で使用できる暗号化方式は「AES」だけです。
ご使用になるときは、接続する無線アクセスポイント側の暗号化方式を「AES」に設定してください。
また、無線アクセスポイント側を「TKIP・AES」に設定している場合は接続できませんのでご注意ください。

2 無線LAN

IPアドレス設定

「無線LAN」→「IPアドレス設定」

VP-71のIPアドレスについて設定します。（出荷時の設定：自動取得）



※上図は、固定IPアドレスを設定した場合の設定例です。

項目	内容	出荷時の設定
DHCPからIPを取得	接続できる無線ネットワークからIPアドレスを取得するための設定です。	する
IPアドレス設定	固定IPアドレスで使用するときに設定します。	
サブネットマスク	固定IPアドレスで使用するときのサブネットマスクを選択します。	
ゲートウェイ	固定IPアドレスで使用するときのゲートウェイを設定します。	
プライマリDNSアドレス	固定IPアドレスで使用するときのプライマリDNSアドレスを設定します。	
セカンダリDNSアドレス（オプション	固定IPアドレスで使用するときのセカンダリDNSアドレスを設定します。	

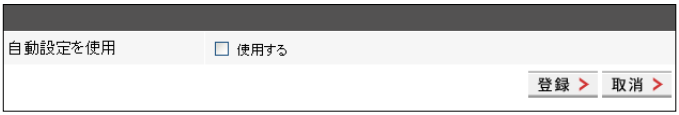
3 自動設定

自動設定

「自動設定」→「自動設定」

VP-71自動設定ツール(別途提供品)を使用するための設定です。
詳しくはVP-71自動設定ツールに付属の取扱説明書をご覧ください。

(出荷時の設定：使用しない)



4 SIP

プロファイル

「SIP」→「プロファイル」

弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)に接続するためのプロファイルを一覧で管理します。

※上図は、プロファイル「1100」を使用している場合の設定例です。

項目	内容	出荷時の設定
〈追加〉	接続するためのプロファイルを新規作成するときに使用します。 ※表示されたアカウント画面で設定します。	
〈編集〉	接続するためのプロファイルを編集するときに使用します。 ※表示されたアカウント画面で編集します。	
〈削除〉	接続するためのプロファイルを一覧から削除する場合に使用します。	
〈使用〉	選択したプロファイルでSIPサーバへ登録する場合に使用します。	

アカウント

「SIP」→「プロファイル」→「アカウント」

弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)に接続するためのプロファイルを編集します。

※上図は、プロファイル一覧(→P96)で〈編集〉をクリックしたときの表示例です。

項目	内容	出荷時の設定
プロファイル名	接続するためのプロファイルに任意の名称を設定します。 設定できる範囲は「1～12(文字)」です。	SIP1
表示名	接続するためのプロファイルに表示名を設定します。 設定できる範囲は「1～20(文字)」です。	
SIPユーザ名	弊社製VoIP機器で設定した内線番号を入力します。	100
SIPサーバを使用	弊社製VoIP機器を使用するため、「する」を選択します。	する
認証名	弊社製VoIP機器で設定した内線番号を入力します。	100
パスワード	弊社製VoIP機器で設定したパスワードを入力します。	100
SIPサーバアドレス	弊社製VoIP機器のLAN側IPアドレスを入力します。 ※ポート番号は変更する必要はありませんので、出荷時の設定のままご使用ください。	192.168.0.1
ドメイン	変更する必要はありませんので、出荷時の設定(空白)のままご使用ください。	
NATトラバーサル	必要に応じて「アウトバンドサーバ」「STUNサーバ」を設定します。	使用しない

4 SIP

詳細

「SIP」→「詳細」

弊社製VoIP機器(簡易中継サーバ)に接続するための、詳細な設定です。
※出荷時の設定のままでご使用ください。

項目	内容	出荷時の設定
有効期限	SIPサーバへの登録有効期限を設定します。 設定できる範囲は、「30～86400(秒)」です。	720
音声符号化方式	IP電話で、発信するときの音声符号化方式を「G.711(PCMU)」「G.711(PCMA)」「G.729」から選択できます。	G.711(PCMU)
受信バッファ	音声を受信したとき、音声データを蓄えるサイズを「大」「中」「小」から選択できます。 蓄えるサイズが小さいほど遅延は少なくなりますが、音声が途切れやすくなります。	大
Tos/Diffserv	IPヘッダーのTOSフィールド値を設定します。 設定できる範囲は、「00～ff(16進数)」です。 TOSフィールドは、[TOS]または[DIFFSERVE]のどちらか一方をネットワーク内の設定にあわせて使用します。	00 (TOSを使用しない)
セッション	SIPのセッションタイマ拡張(RFC4028)を使用できます。 「する」に設定した場合は、下記の項目が有効になります。 有効期限 180 (90～86400(秒)) タイプ re-INVITE (re-INVITE/UPDATE)	しない

5 設定

言語

「設定」→「基本」

ディスプレイに表示される言語を、「英語」「日本語」から選択できます。

（出荷時の設定：日本語）

音

「設定」→「音」

VP-71で使用する音についての設定項目です。

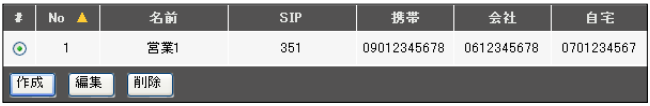
項目	内容	出荷時の設定
着信音	着信したときの着信音パターンを「着信音 1～着信音 7」から選択できます。 ※サイレントモード（またはマナーモード）時、無効になります。	着信音 1
着信音量	着信したときの着信音量を「レベル0～レベル4」から選択できます。 ※「レベル0」を設定すると、サイレントモードになります。	レベル2
バイブレーター	着信を振動でお知らせする機能です。 ※充電時は、設定に関係なく「オフ」になります。	自動
キータッチ音	「オン」に設定すると、キー操作確認音が鳴るようになります。 ※マナーモード時には無効になります。	オフ
メッセージ通知	メッセージの受信を音で通知する機能です。 ※マナーモード時には無効になります。	オン
DTMFトーンタイプ	VP-71のボタンを押したときに相手へ送る信号方式を、「Inband」「Outband」「Info」から選択できます。	Inband

6 電話帳

電話帳

「電話帳」→「電話帳」

よくかける相手の電話番号などを100件まで登録できます。また、1件につき「SIP（内線番号）」「携帯」「会社」「自宅」の電話番号を登録できます。
使用されていない番号（No.）の中で小さいものから順に自動的に登録され、番号順に表示されますので、登録後、必要に応じて番号（No.）を編集します。



※上図は、一覧から「営業1」を選択し〈編集〉をクリックしたときの表示例です。

7 通話履歴

通話履歴

「通話履歴」→「通話履歴」

通話履歴には、不在、着信、通話の合計で50件の電話番号が記憶され、50件を超えると、古い履歴から消去されます。
また、〈全削除〉をクリックすると、選択した履歴を一括削除できます。

発信履歴 全削除 >

名前	電話番号	日付 ▼	時間
202	202	2007/09/14 16:19	00:14
202	202	2007/09/14 16:04	14:05
202	202	2007/09/14 15:54	09:49
202	202	2007/09/14 14:42	00:00
202	202	2007/09/14 14:42	37:43
207	207	2007/09/14 14:41	00:00
204	204	2007/09/14 14:41	00:00

着信履歴 全削除 >

名前	電話番号	日付 ▼	時間
RECALL	202	2007/09/14 16:21	00:11
RECALL	202	2007/09/14 16:20	00:11
202	202	2007/09/13 17:38	27:59
201	201	2007/09/13 17:17	18:56
202	202	2007/09/13 16:49	00:17

不在履歴 全削除 >

名前	電話番号	日付 ▼
RECALL	202	2007/09/14 16:18
204	204	2007/09/14 14:41
204	204	2007/09/14 10:49

※上図は表示例です。

8 メッセージ履歴

履歴

「メッセージ履歴」→「履歴」

受信したメッセージを10件まで記録できます。また、〈削除〉をクリックすると、選択したメッセージを削除できます。

※10件を超えると、古いメッセージから自動的に削除されますのでご注意ください。

※上図は表示例です。

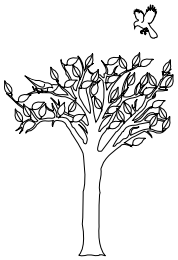
9 短縮ダイヤル

短縮ダイヤルリスト

「短縮ダイヤル」→「短縮ダイヤルリスト」

よくかける相手の電話番号を10件まで短縮ダイヤルに登録できます。

※上図は、一覧から「201」を選択し〈編集〉をクリックしたときの表示例です。



ご参考に

第7章

この章では、
困ったときの対処法、仕様などを説明しています。

1 困ったときは ……106
2 弊社製VoIP機器側の設定例 ……107
　設定前の確認について……107
　簡易中継サーバの設定……108
　SIPサーバによる外線の発信 ……110
　設定後の確認について……110
3 イヤホンマイク(付属品)の使いかた ……111
　接続のしかた……111
　自動応答を設定するには……112
4 ローミング設定について ……113
　変更のしかた……113
5 設定項目の初期値一覧 ……115
6 定格 ……116
　一般仕様……116
　無線部……116
　音声部……117
　ネットワーク部……117
　充電アダプター(付属品)……117

7 ご参考に

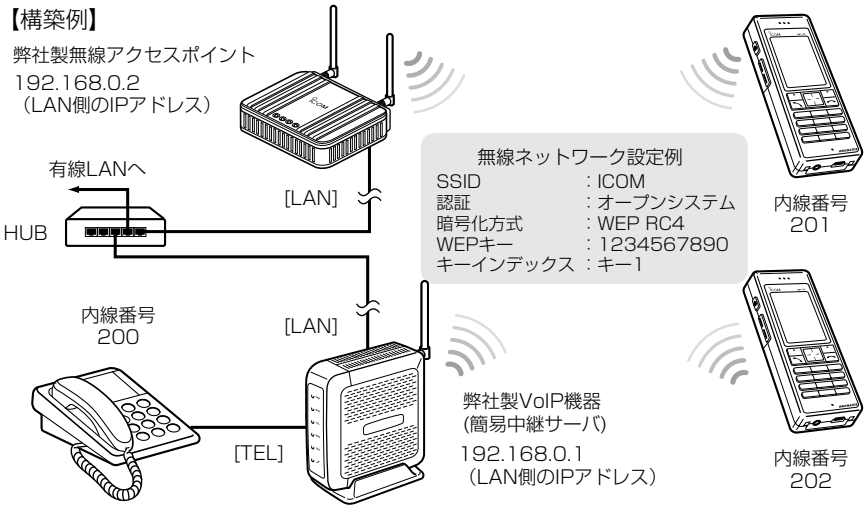
1 困ったときは

現象	確認	処置	頁
電源が入らない	[電源]ボタンを2秒以上押していますか？	[電源]ボタンを2秒以上押してください。	10
	電池切れになっていませんか？	バッテリーパックを充電してください。	8 9
	バッテリーパックを正しく取り付けていますか？	バッテリーパックを正しく取り付けてください。	6
充電ができない	クレードルに正しく取り付けていますか？	クレードルに正しく取り付けてください。	9
	クレードルにコネクターがしっかり差し込まれていますか？	クレードルにコネクターをしっかりと差し込んでください。	9
	本体をクレードルに正しい向きに取り付けていますか？	正しい向きに取り付けてください。	9
	本体のDCジャックにコネクターがしっかり差し込まれていますか？	本体のDCジャックにコネクターをしっかりと差し込んでください。	8
キーを押しても反応しない	電源が入っていますか？	電源を入れてください。	10
電話がかけられない/かかってこない	電源が入っていますか？	電源を入れてください。	10
	「圏外」が表示されているか、電波の弱い場所にいませんか？	電波状態のよい場所に移動してください。	4
	SSIDや暗号化設定が正しく設定されていますか？	SSIDや暗号化設定を正しく設定してください。	23 ～ 26
	「未登録」が表示されていませんか？	内線番号などの初期設定を確認してください。	29 ～ 31
	弊社製VoIP機器の電源が入っていますか？	弊社製VoIP機器の電源を入れてください。	—
	市外局番をつけ忘れていませんか？	市外局番からダイヤルしてください。	34
着信音が鳴らない	着信音量が「レベル0（サイレントモード）」になっていませんか？	着信音量を調整してください。	37
	マナーモードが設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	41
相手の声が聞こえない/聞こえづらい	受話音量が小さくなっていませんか？	受話音量を調整してください。	37
	電波状態が悪くありませんか？	電波状態のよい場所に移動してください。	4
相手から声が聞き取りにくいと言われた	周りの騒音が大きい場所にいませんか？	マイクゲインを下げ大きめの声で会話をしてください。	66
通話が途切れる	電波状態が悪くありませんか？	電波状態のよい場所に移動してください。	4
	使用される環境に無線アクセスポイントが複数台ありませんか？	ローミングのしきい値を「60」側に設定してください。	113

※本製品に付属のバッテリーパックは、使用状況などによっても異なりますが、充電しても機能が回復しない場合は寿命です。

2 弊社製VoIP機器側の設定例

弊社製VoIP機器(SR-53V)での使用を例に、簡易中継サーバの設定(下図)と、本製品を使用するための設定について、下図を使用して説明します。



設定前の確認について

下記の内容は、IP電話および無線LANネットワークを、弊社製VoIP機器および弊社製無線アクセスポイントにあらかじめ設定されていれば確認できる内容です。
本製品を導入する前に、下記の動作をご確認ください。

◎SR-53Vの[TEL]ポートに接続した電話を使用して、一般加入電話回線への発信できることを確認します。

ご契約の商用IP電話接続業者などのSIPサーバをSR-53V(弊社製VoIP機器)に設定している場合は、そのSIPサーバへの発信と併せてご確認ください。

◎AP-50Wなどの弊社製無線アクセスポイントを、SR-53VとLANで接続する場合は、AP-50Wの無線伝送エリア内から本製品を使用できます。

上図のように、本製品をAP-50WとSR-53Vのあいだを移動して使用する場合、本製品と通信する、すべての無線LAN機器で[SSID]、[暗号化]が同じ設定であることを確認します。

◎本製品のIPアドレスは、DHCPサーバから取得するものとします。

AP-50WとSR-53VのIPアドレスは、ネットワーク部が同じLANで構成しているものとします。

◎無線アクセスポイント(AP-50Wなど)を増設する場合、無線チャンネルは、SR-53Vと4チャンネル以上空けて設定されていることをご確認ください。

2 弊社製VoIP機器側の設定例

簡易中継サーバの設定

「電話設定」→「簡易サーバ設定」

1. 弊社製VoIP機器の[簡易中継サーバ設定]項目で、次の各欄を設定します。

◎簡易中継サーバと子機間が共通で使用するSIPサービスドメイン名
[内線ドメイン] :「192.168.0.1」(入力例)

◎弊社製VoIP機器の[TEL]ポートに接続する電話機の内線番号
[TEL] :「200」(入力例)

VP-71のメッセージ機能を使用するときは

あらかじめ弊社製VoIP機器の[簡易中継サーバ設定]項目の「内線ドメイン」を、VoIPサーバのIPアドレスに設定する必要があります。

簡易中継サーバの設定　　**「電話設定」→「簡易サーバ設定」**

2. 弊社製VoIP機器の[子機内線設定]項目で、次の各欄を設定します。

◎登録する本製品(VP-71)①
[内線番号]　　:「201」(入力例)
[パスワード]　:「201」(入力例)

◎登録する本製品(VP-71)②
[内線番号]　　:「202」(入力例)
[パスワード]　:「202」(入力例)

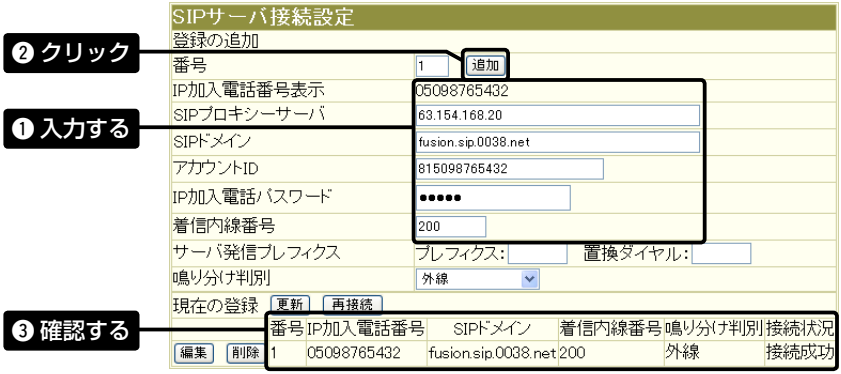
※上図の例は、本製品(内線番号201)を入力した場合です。
本製品(内線番号202)についても同様に入力します。

2 弊社製VoIP機器側の設定例

SIPサーバによる外線の発信

「電話設定」→「SIP設定」

本製品からSIPサーバによる外線への発信は、あらかじめ下記の画面に設定されているSIPドメインを使用します。



※上図は、説明のための設定例です。

設定後の確認について

❶弊社製VoIP機器の設定が完了したら、VP-71の電源を入れなおします。
登録したすべての本製品の表示部に、「登録済み」を表示します。

❷「登録済み」表示が確認できたら、VP-71どうしが内線通話できることを確認します。

❸SR-53Vに接続された電話機の内線番号(例：200)を、VP-71からダイヤルして、通話を確認します。

❹VP-71からアナログ公衆電話回線にダイヤル(例：117)します。
SR-53Vから発信できることを確認します。

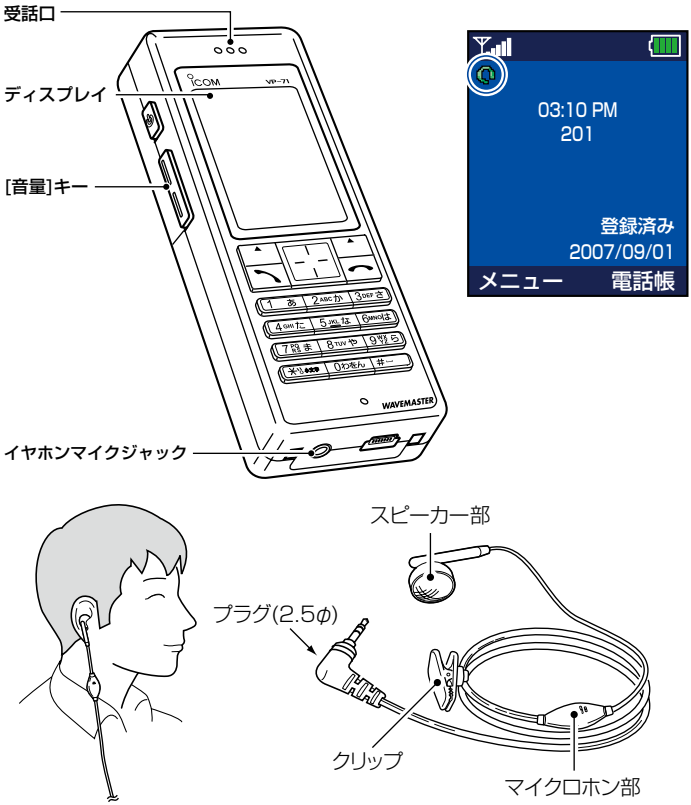
❺ご契約の商用IP電話接続業者などをSR-53Vに設定している場合は、その回線を使用して発信できることを確認します。

3 イヤホンマイク(付属品)の使いかた

接続のしかた

イヤホンマイクジャックの根元まで、イヤホンマイクのプラグを挿入すると、ディスプレイにアイコンが表示されます。

※根元まで挿入していないと、正常に機能しません。
※本製品に付属のイヤホンマイク以外は、使用できません。



⚠警告

下記の事項を守らないと、耳に障害を与える原因になります。

- 大きな音量でイヤホンマイク(付属品)などを使用しないでください。
- 異音が出ることがありますので、イヤホンマイクなどを耳に当てた状態で、取り付けや取りはずしをしないでください。
- 本製品の受話口とイヤホンマイクでは、音量が異なりますので、あらかじめ受話音量(保留音量を含む)を、VP-71側面の[音量]キーで最小にしてから聞こえやすい音量にセットしてご使用ください。

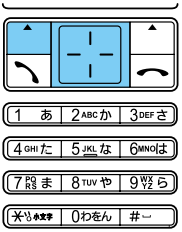
3 イヤホンマイク(付属品)の使いかた

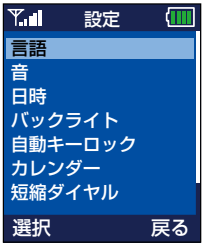
自動応答を設定するには

自動応答機能を設定すると、イヤホンマイク接続時、着信後、自動的に通話状態になるため、本製品に手をふれないで電話を受けられます。（出荷時の設定：オフ）

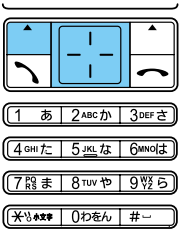
※自動応答機能は、イヤホンマイク接続時のみ有効となります。

1 **待受画面で**
[メニュー]キーを押し、
[カーソル(上下)]キーで
「設定」を選択し、
[メニュー]キーを押します。
設定メニューが表示されます。

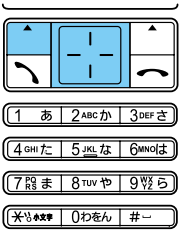


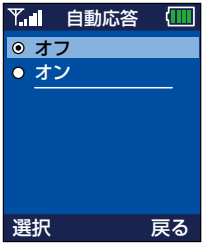


2 **[カーソル(上下)]キーで**
「音」を選択し、
[メニュー]キーを押します。
音関連項目一覧が表示されます。

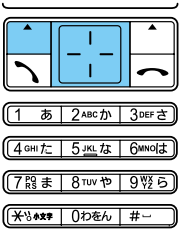


3 **[カーソル(上下)]キーで**
「自動応答」を選択し、
[メニュー]キーを押します。
自動応答画面が表示されます。





4 **[カーソル(上下)]キーで**
「オン」を選択し、
[メニュー]キーを押します。
音関連項目一覧に戻ります。
[終了]キーを押すと、待受画面に戻ります。



4 ローミング設定について

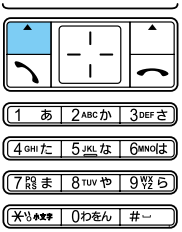
変更のしかた

下記の手順で、使用される無線ネットワーク環境に応じて、ローミングのしきい値を電話機本体で変更できます。（出荷時の設定：80(-dBm)）

※WEB設定画面からは変更できません。

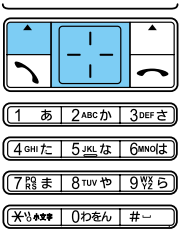
1 **待受画面で[メニュー]キーを押します。**

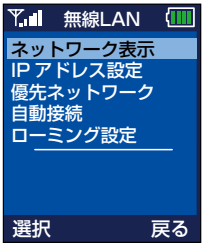
メインメニューが表示されます。



2 **[カーソル(上下)]キーで「無線LAN」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

無線LANメニューが表示されます。

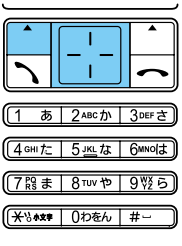




3 **「ローミング設定」を選択し、[メニュー]キーを押します。**

ローミング画面が表示されます。

設定できる範囲は、「60～85(-dBm)」までです。
小さい値(例：60)ほど、ローミングの切り替わりが早くなります。



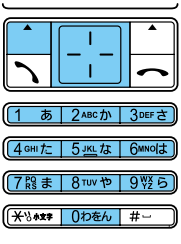
次ページにつづく➔

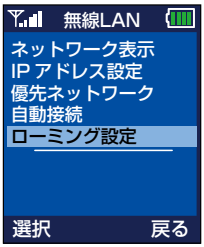
4 ローミング設定について

変更のしかた

4 **ローミングのしきい値を変更し、[メニュー]キーを押します。**

設定が有効になり、無線LANメニューに戻ります。





無線アクセスポイントが複数台あるときは

使用される環境に無線アクセスポイントが複数台あるときは、しきい値を「60」側に設定しご使用されることをおすすめします。

※出荷時の設定のままでご使用になると、移動して強い電波強度の無線アクセスポイントに近づいてもローミングせず、すでに接続している電波強度の弱くなった無線アクセスポイントと接続を継続することがあり、そのため通話時に音切れが発生することがあります。

※ローミング中は音声が途切れることがあります。

無線アクセスポイントが1台のときは

使用される環境に無線アクセスポイントが1台のときは、切り替わる必要がありませんので、しきい値は**出荷時の設定、または「85」側**へ設定しご使用をおすすめします。

5 設定項目の初期値一覧

本製品の設定画面について、全設定を初期化したとき表示される各項目の初期値です。

システム

「日時」画面

日時
方法 ：RTC
日時設定
日付設定：2007/01/01
時刻設定：00:00
日付表示形式 ：yyyy mm dd
日付区切り文字：/
時刻表示形式：hh:mm tt
時刻区切り文字：:

※NTP設定時の初期値は、更新間隔「12時間」、NTPサーバ #1「210.173.160.27」になります。

「管理者設定」画面

パスワード設定
ユーザネーム：admin
現在のパスワード：admin
継続時間設定
継続時間：10(分)
管理者IPアドレス
使用する □

無線LAN

「APプロファイル」画面

SSID：LG
認証：オープンシステム
暗号：なし

「IPアドレス設定」画面

DHCPからIPを取得 ：☑する

自動設定

「自動設定 」画面

自動設定を使用：□使用する

SIP

「プロファイル」画面

プロファイル名：SIP1
SIPユーザ名：100
認証名：100
SIPサーバ設定：する
SIPサーバ：192.168.0.1
NATサーバ設定：なし

「詳細」画面

設定
有効期限：720(秒)
音声符号化方式：G.711(PCMU)
受信バッファ：大
Tos/Diffserv：00
セッション
RFC4028：未使用

設定

「基本」画面

言語
MMI言語 ：日本語

「音」画面

着信音：着信音1
着信音量：2
バイブレーター：自動
キータッチ音：オフ
メッセージ通知：オン
DTMFトーンタイプ：Inband

※初期に参照しているNTPサーバーは、インターネットマルチフィード株式会社のものです。
http://www.jst.mfeed.ad.jp/

6 定格

※定格・仕様・外観等は改良のため予告なく変更する場合があります。

一般仕様

バッテリーパック ：リチウムイオン(DC3.7V 1100mAh)
使 用 環 境 ：温度0～40℃、湿度5～95%（結露状態を除く）
外 形 寸 法 ：約42(W)×110(H)×19(D)mm(突起物を除く)
重 量 ：約94g（バッテリーパックを含む）
適 合 規 格 ：クラスB情報技術装置(VCCI)
連続通話時間 ：約2時間30分※1(通話状態で操作をしない場合)
連続待受時間 ：約50時間※1(待受(着信がない)状態で操作をしない場合)
液晶ディスプレイ ：1.8インチ TFTカラー液晶
文 字 入 力 ：日本語(ひらがな/カタカナ/漢字)、英語、数字、記号

※1 充電状態･気温などの使用環境、使用場所の電波状態などによっては、半分以下になることがあります。

無線部

国 際 規 格 ：IEEE802.11b/g準拠
国 内 規 格 ：ARIB STD-T66
最大伝送距離 ：[IEEE802.11g]規格(54Mbps通信時)
約30m(室内：見通し/オープンスペース)
[IEEE802.11b]規格(11Mbps通信時)
約30m(室内：見通し)、約70m(オープンスペース)
使用周波数範囲 ：2400～2483.5MHz
チャンネル数 ：13チャンネル
通 信 速 度 ：[IEEE802.11g]規格
自動、54/48/36/24/18/12/9/6Mbps
[IEEE802.11b]規格
自動、11/5.5/2/1Mbps
送 信 出 力 ：10mW/MHz以下
セキュリティー ：WEP RC4(64(40)/128(104)ビット)、WPA-PSK※2、
WPA2-PSK※2

※2 本製品の「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」認証で使用できる暗号化方式は「AES」だけです。
ご使用になるときは、接続する無線アクセスポイント側の暗号化方式を「AES」に設定してください。
また、無線アクセスポイント側を「TKIP・AES」に設定している場合は接続できませんのでご注意ください。

音声部

プロトコル　：SIP(RFC3261)、SDP(RFC2327)、RTP(RFC1889)、RTCP(RFC1890)
コーデック　：G.711、G.729a

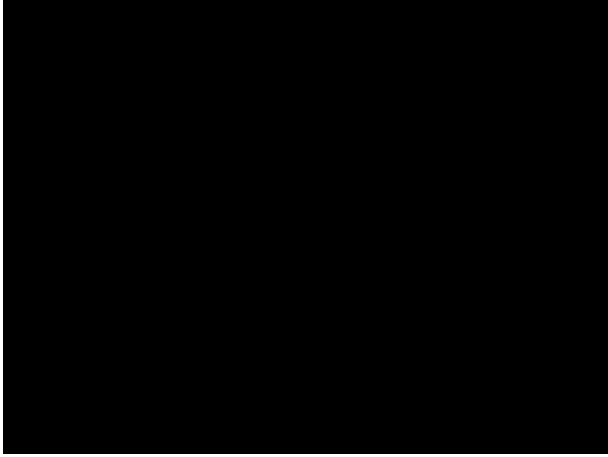
ネットワーク部

プロトコル　：HTTP、TCP、UDP、ARP、ICMP

充電アダプター(付属品)

入力電圧　：AC100V(50/60Hz)
出力電圧　：DC5V
容量　：1A 5W
使用環境　：温度10～40℃、湿度20～85% (結露しないこと)

高品質がテーマです。



アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

A-6610-4J-② © 2007–2008 Icom Inc.